

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第10週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-7

< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 >
例年冬季から夏季にかけて報告数の増加がみられるが、発生はピークを迎えつつあるものと考えられる



病原体情報
P.8-11

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン



速報
P.12-14

パラチフス 2005年(2006年1月26日時点)



海外感染症情報
P.15-16

モルジブでのデング熱流行状況 / バングラデシュでのポリオ流行状況 / アゼルバイジャンでの鳥インフルエンザ流行状況 / 南西インド洋でのチクングニヤとデング熱流行状況



感染症の話
P.17

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(10週)
P.18-24



10週のデータ
P.25-36



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第10週コメント > 3月15日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: コレラ 2例(推定感染地域: とともにフィリピン)

細菌性赤痢 10例(推定感染地域: 国内2例、インド3例、マダガスカル2例、インドネシア2例、インド/ネパール1例)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 6例(うち有症者5例)

血清型・毒素型: O26 VT1・VT2(2例)、O157 VT2(2例)、O157 VT1・VT2(1例)、O74 VT1(1例)

4類感染症: つつが虫病 1例(茨城県)

デング熱 1例(推定感染地域: インドネシア)

マラリア 1例(三日熱_推定感染地域: パプアニューギニア)

レジオネラ症 5例(60代1例、70代3例、80代1例。うち1例死亡)

E型肝炎 4例(推定感染地域: いずれも国内。推定感染源: シカ肉/イノシシ肉3例、不明1例)

A型肝炎 11例(推定感染地域: 国内8例、エジプト1例、ニューカレドニア1例、不明1例)

5類感染症: アメーバ赤痢 13例

推定感染地域: 国内6例、タイ1例、インド1例、東南アジア1例、不明4例

推定感染経路: 経口2例、経口/性的接触(同性間)1例、不明10例

ウイルス性肝炎 5例

B型2例(推定感染経路: 性的接触(異性間)1例、不明1例)

C型2例(推定感染経路: とともに不明)

サイトメガロウイルス1例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(50代)

後天性免疫不全症候群 12例(無症候8例、AIDS 3例、その他1例)

推定感染経路: 性的接触10例(異性間3例、同性間6例、異性間/同性間1例)、不明2例

推定感染地域: 国内11例、不明1例

ジアルジア症 2例(推定感染地域: インド1例、インド/ネパール1例)

梅毒 4例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、無症候1例)

急性脳炎 3例

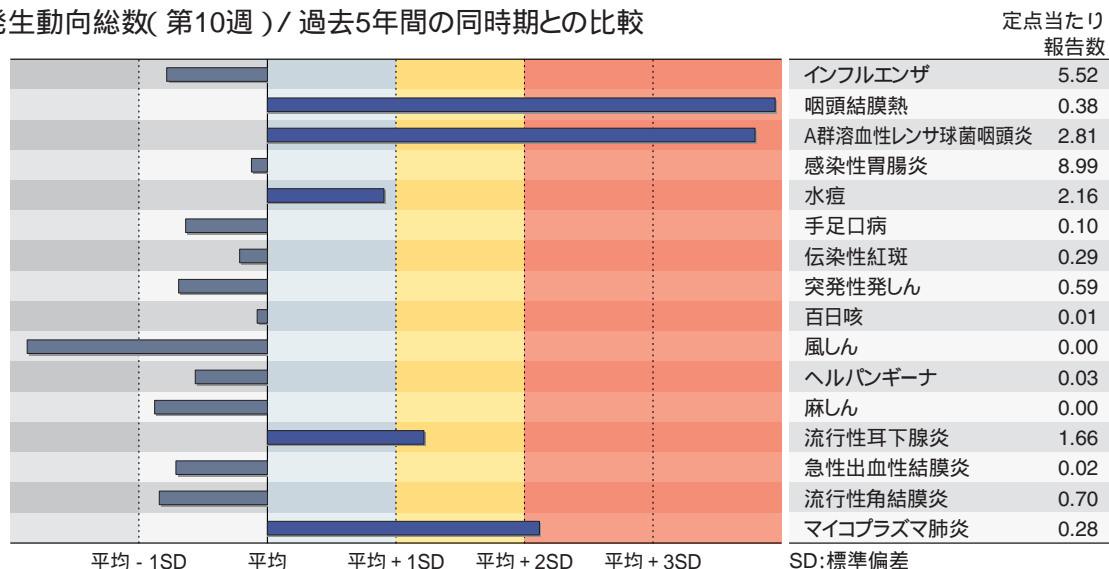
[A型インフルエンザウイルス1例(9歳)、病原体不明2例(0歳、2歳)]

(補)他に、マラリア1例、梅毒1例の報告があったが削除予定。また、報告遅れとして、オウム病1例(推定感染源: インコ)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(60代)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(10代)、急性脳炎4例(A型インフルエンザウイルス1例(2歳)、B型インフルエンザウイルス1例(0歳)、病原体不明2例(4歳、70代))などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第10週) / 過去5年間の同時期との比較



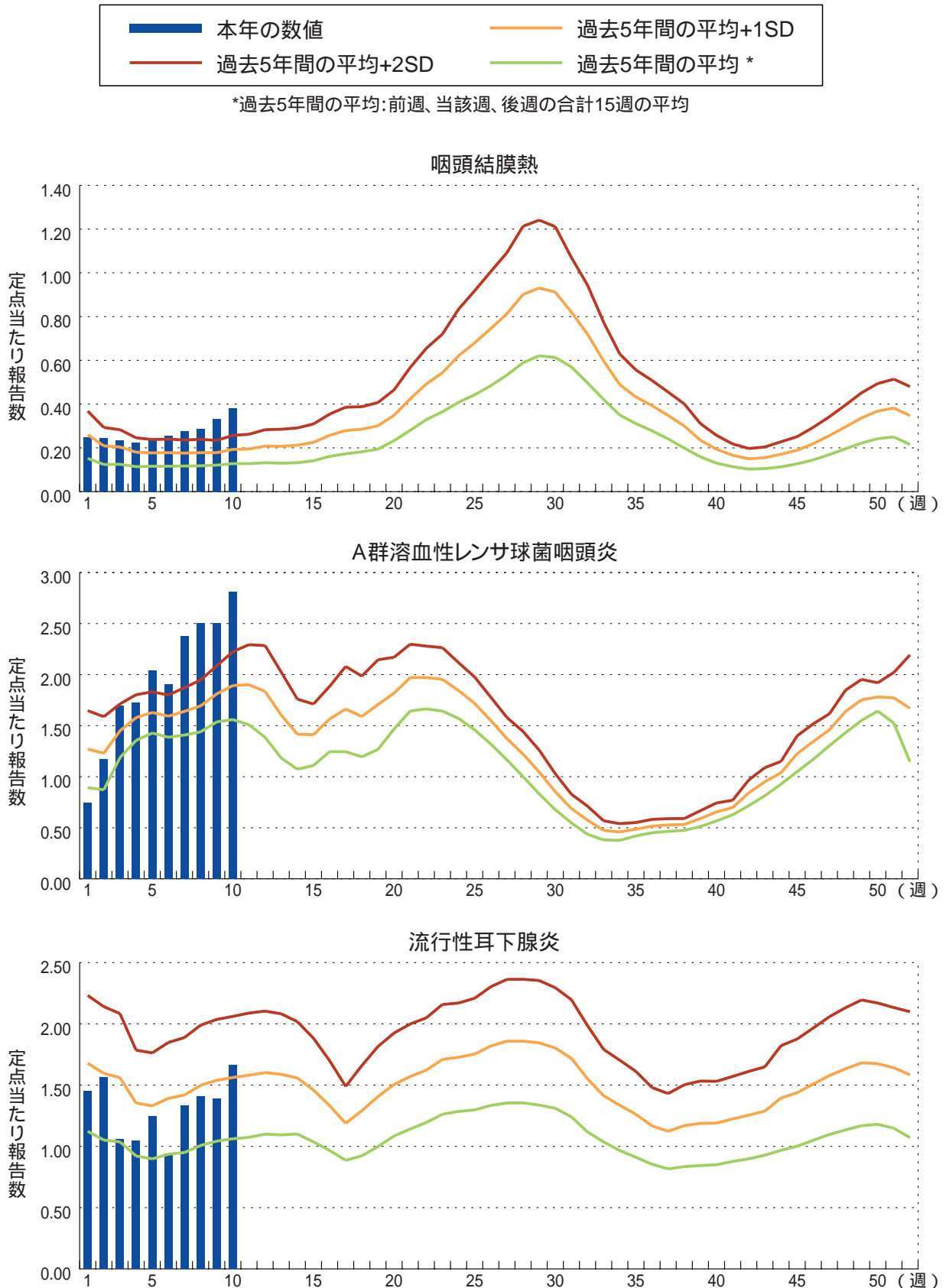
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ : 定点当たり報告数は第4週のピークを過ぎてからは減少が続いている。都道府県別では高知県(41.8)、長野県(14.6)、新潟県(13.3)、北海道(12.8)が多い。

小児科定点報告疾患 : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第5週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では福井県(1.6)、島根県(1.4)、鹿児島県(1.4)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では新潟県(6.3)、福井県(5.7)、宮城県(5.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(21.1)、佐賀県(20.2)、愛媛県(17.4)が多い。水痘の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では宮崎県(4.5)、大分県(4.4)、沖縄県(4.1)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では岐阜県(0.58)、愛知県(0.42)、鹿児島県(0.36)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鳥取県(1.5)、福島県(1.0)、熊本県(1.0)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福岡県(0.06)、栃木県(0.04)、徳島県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では鳥取県(0.05)、島根県(0.04)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では熊本県(0.19)、群馬県(0.16)、東京都(0.13)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では埼玉県(0.01)、千葉県(0.01)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(5.9)、長野県(4.8)、鹿児島県(4.8)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて39都道府県から221例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府(1.8)、群馬県(1.1)、青森県(1.0)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1～10週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌(*Streptococcus pyogenes*)を原因菌とする感染症であり、わが国を含めた温帯地域では普遍的にみられる疾患である。患者または保菌者の鼻汁、唾液中に含まれる菌の飛散によってヒトからヒトへ感染する他、食品を介しての感染も報告されている。潜伏期間は2～5日であり、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴う。通常、発熱は3～5日以内に下がり、主症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患であるが、菌が産生する毒素に免疫のない場合は、猩紅熱に発展することがある。治療にはペニシリン系薬が第1選択薬とされているが、ペニシリンアレルギーがある場合はマクロライド系薬やセフェム系薬を用いる。リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの非化膿性の合併症予防のために、少なくとも10日間は確実に服用することが必要である。

季節的には、例年冬季から夏季にかけて報告数の増加がみられている。感染症発生動向調査によれば、2000年以降の定点当たり年間の累積報告数は、2003年、2004年と増加がみられているが、2005年は前年より減少した(図1)。しかし、2006年は1996年以降の過去10年間と比較して、報告が最も多い状態が続いている(図2、図3)。2006年の累積報告数は第10週までで59,233(定点当たり累積報告数19.49)であり、年齢別では例年と同様に、4～7歳が全体の50%以上を占めており、また9歳以下が85%以上である(図4)。

都道府県別の定点当たり報告数は、第10週では新潟県(6.3)、福井県(5.7)、宮城県(5.4)、鳥取県(5.2)、山形県(5.1)が多かったが、2006年の第1～10週の定点当たり累積報告数をみると、山形県(45.9)、新潟県(45.0)、鳥取県(36.8)、石川県(36.0)、福井県(34.7)の順となっている。この様に、特に日本海側で報告数の多いところが多い(図5)。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生はピークを迎えつつあるものと考えられるが、その発生動向には一層の注意が必要である。

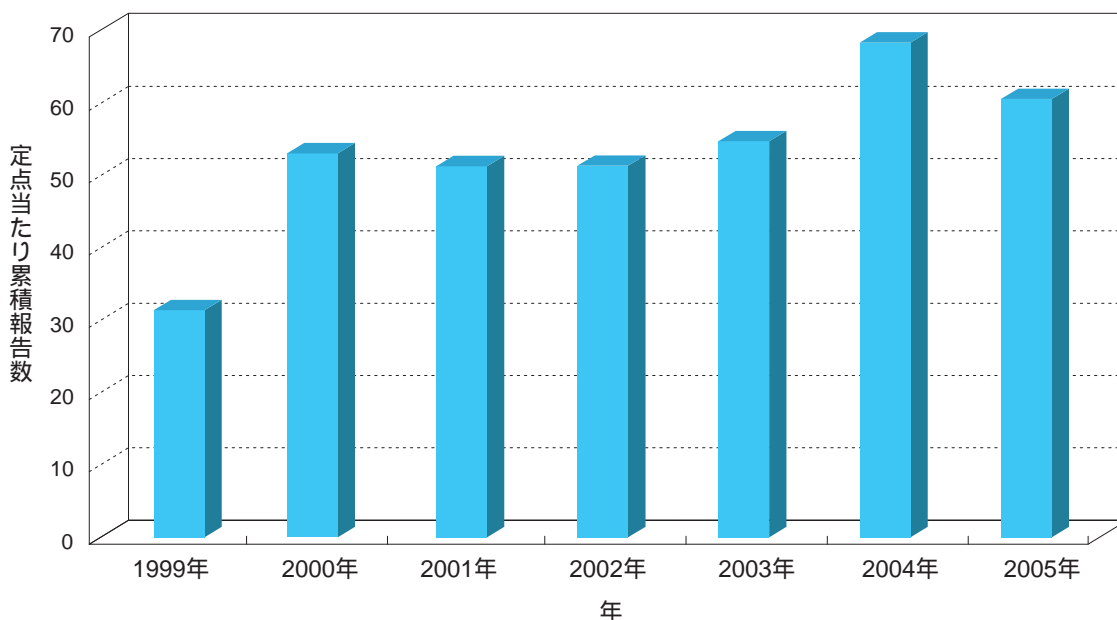


図1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別発生状況

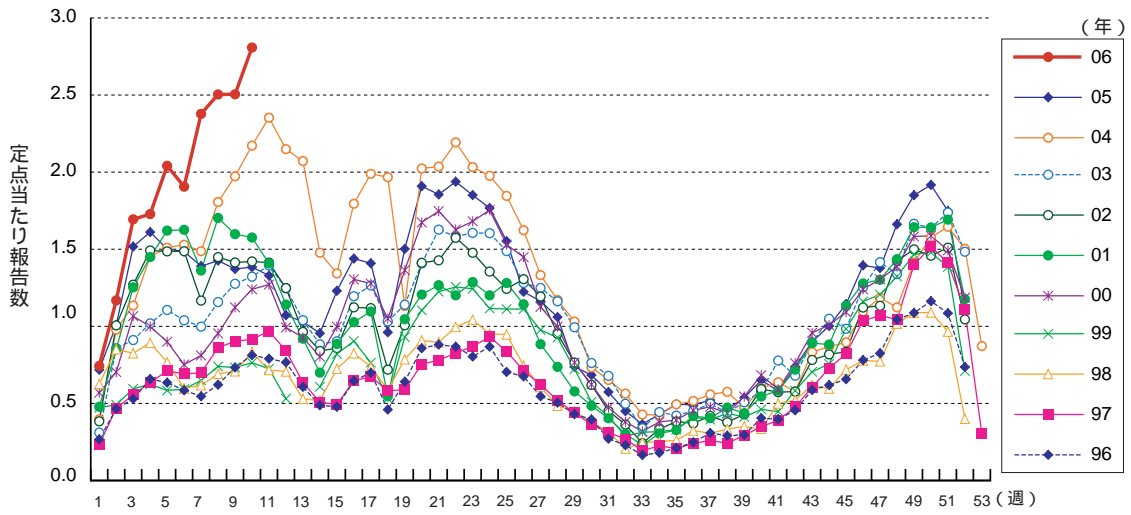


図2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別・週別発生状況(1996～2006年第10週)

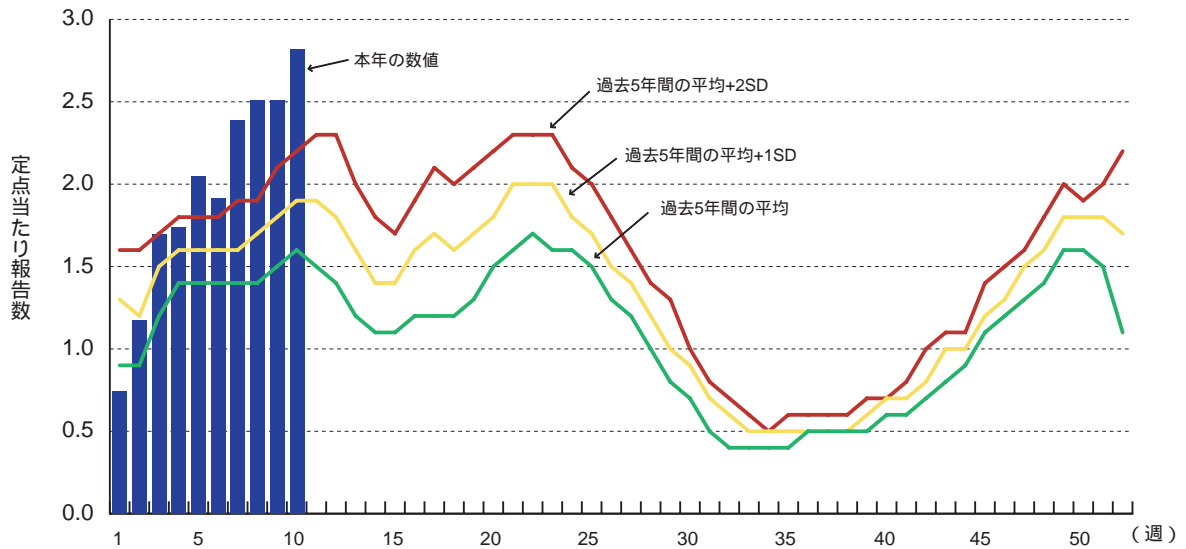


図3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の過去5年間との比較

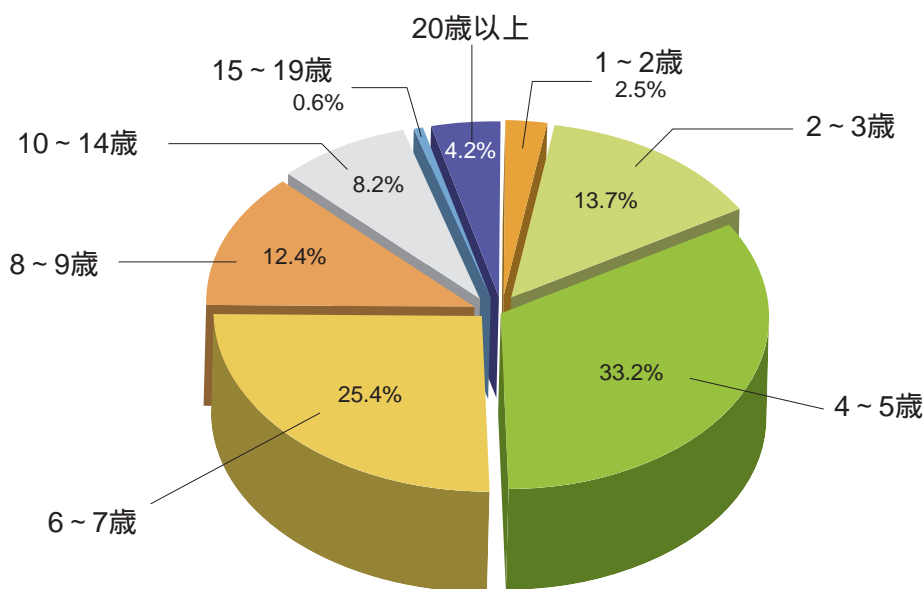


図4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告症例の年齢別割合(2006年第1～10週)

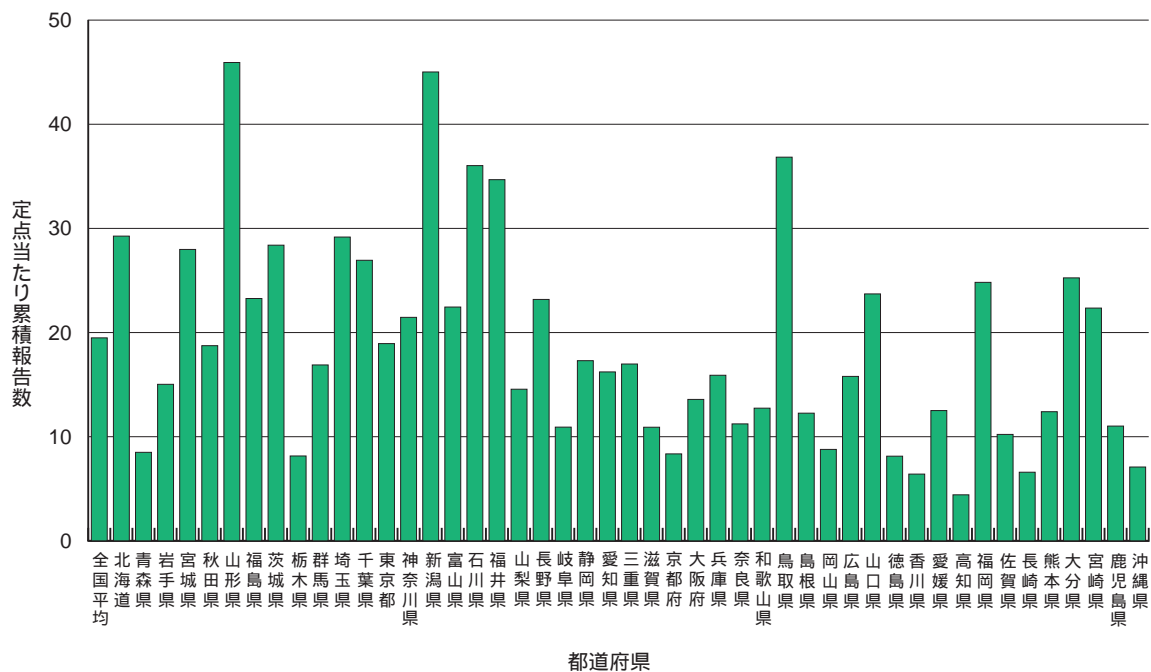


図5. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の都道府県別報告状況(2006年1～10週)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2006年3月17日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン

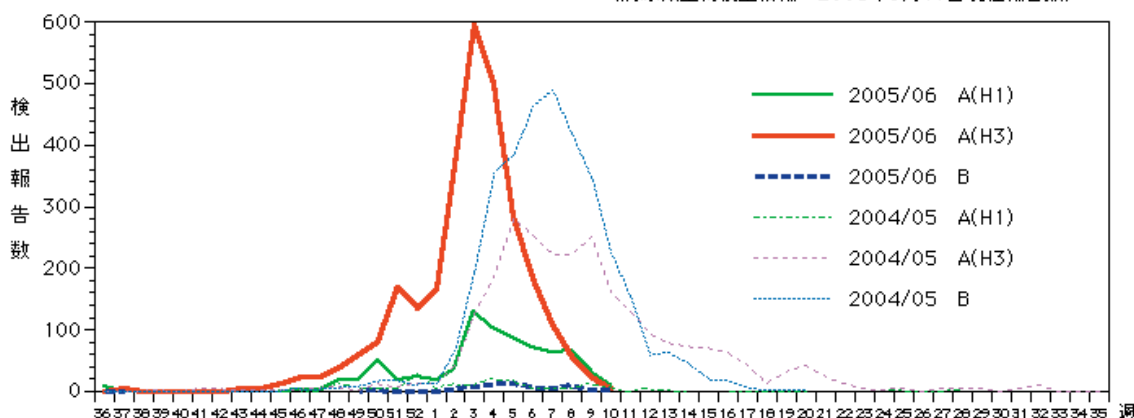
AH3型の報告が年が明けて大きく増加し、第3週をピークに減少している。2005年第36週からの今シーズンの累計では、全都道府県から計2,802件の分離が報告されている(この他、PCRで佐賀県29件、東京都4件、京都府2件、山形県1件、LAMPで兵庫県5件の検出)。

AH1型の報告は、第3週のピークの後ゆるやかに減少している。2005年第36週からの今シーズンの累計では、41都道府県から748件の分離が報告されている(この他、PCRで東京都、静岡県各6件、佐賀県2件、LAMPで兵庫県1件の検出)。

B型は2005年第50週に神奈川県と大阪府から各1件、第1～10週に高知県30件(前号14ページ「速報」参照) 岐阜県10件、愛知県6件、埼玉県、石川県、山梨県、静岡県、大阪府各3件、千葉県、神奈川県、長野県各1件、計66件の分離が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年3月17日現在報告数)



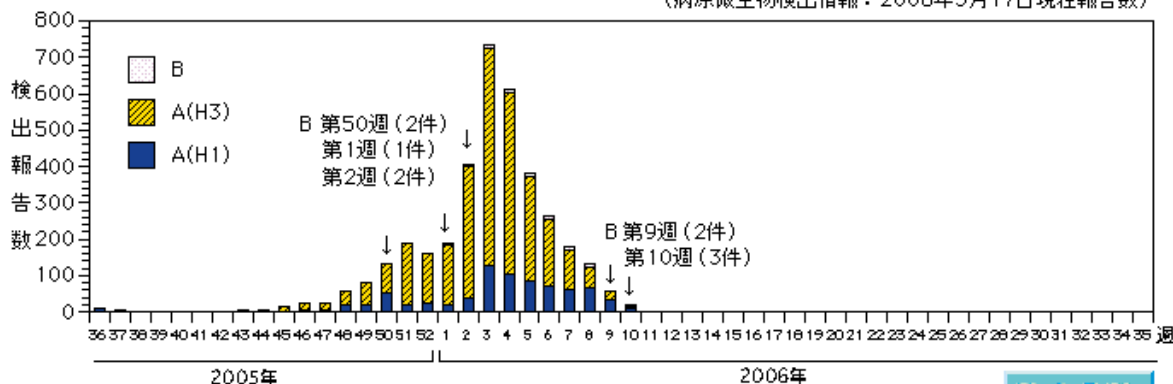
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年3月17日現在報告数)



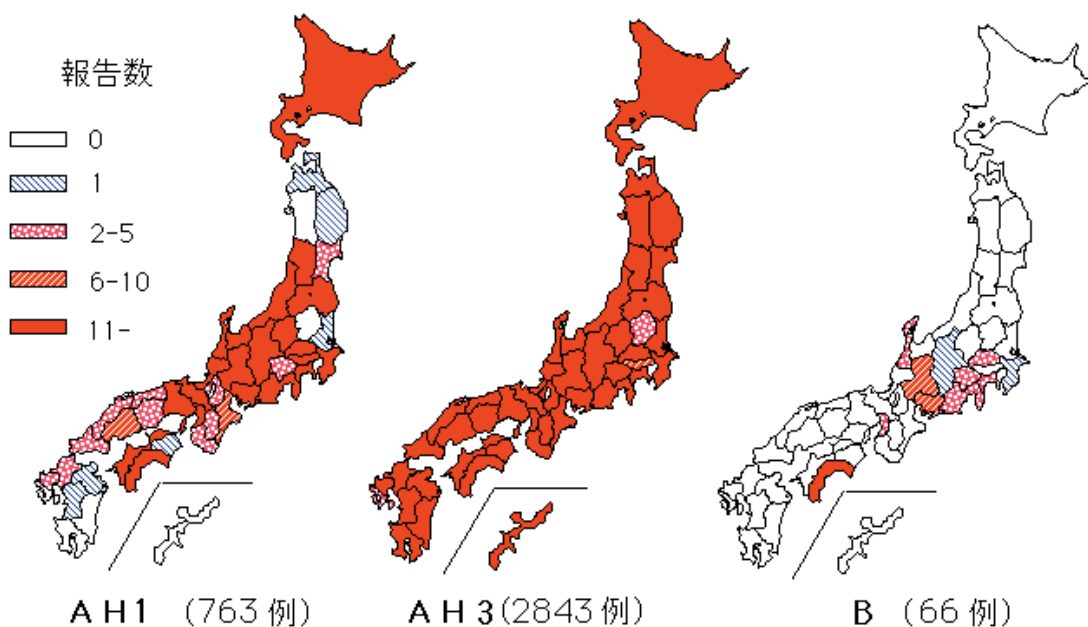
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年3月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン

今シーズンのノロウイルスgenogroup IIの検出報告は前シーズンより早く増加し、2005年第49～50週がピークとなっている。2005年第36週～2006年第10週に大阪府352件、岩手県151件、愛媛県92件、秋田県90件、滋賀県84件、京都府83件など、37府県から計1,556件報告されている。また、genogroup Iの検出が愛媛県14件など、17府県から計55件報告されている。この他、genogroup unknownの検出が100件報告されている(東京都57件、奈良県26件など)。

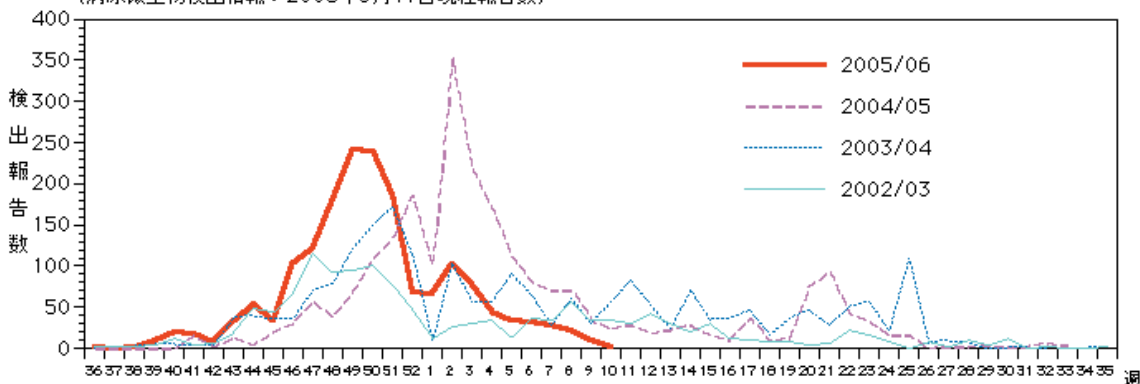
サポウイルスは2005年第41週～2006年第4週に愛媛県19件、大阪府7件、熊本県5件、宮城県、島根県各2件、富山県、三重県、山口県各1件、計38件の検出が報告されている。

A群ロタウイルスは第2～5週に増加しており、第10週までに徳島県25件、愛知県22件、大阪府22件、東京都14件、愛媛県13件、香川県12件、鹿児島県11件など、28都府県から計183件の検出が報告されている。

また、C群ロタウイルス2件が広島県から報告されている。

週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去3シーズンとの比較 (2002/03-2005/06)

(病原微生物検出情報: 2006年3月17日現在報告数)

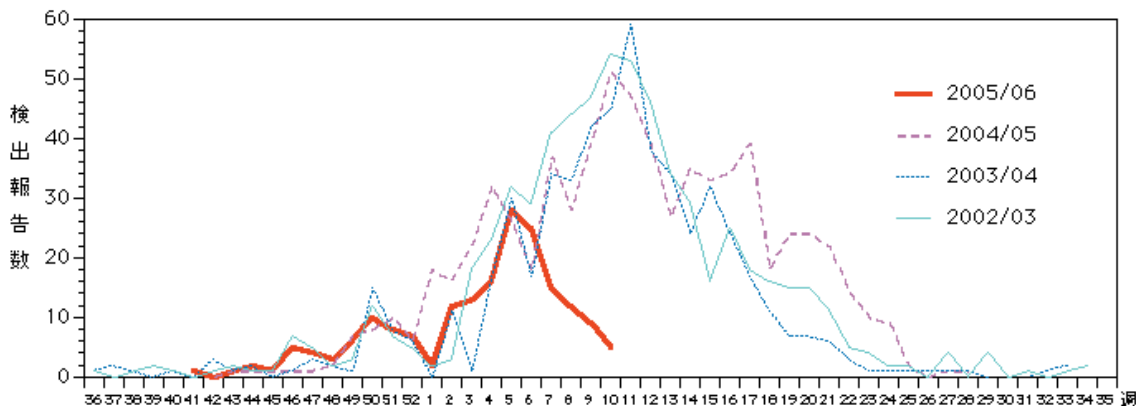


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



週別ロタウイルスの検出報告数、過去3シーズンとの比較 (2002/03～2005/06)

(病原微生物検出情報: 2006年3月17日現在報告数)

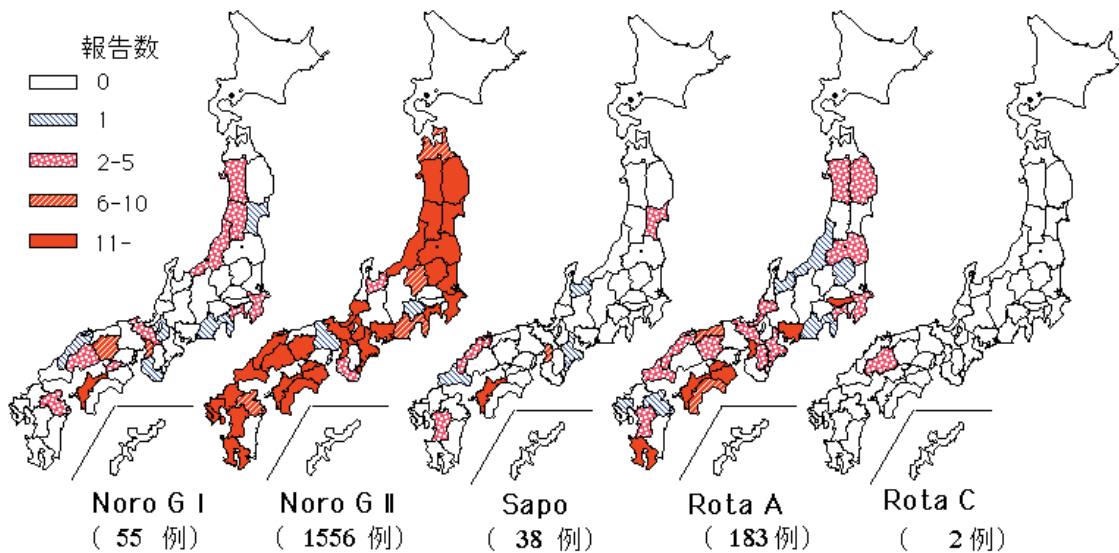


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2005/06シーズン
 (病原微生物検出情報：2006年3月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



パラチフス 2005年(2006年1月26日時点)

パラチフスはパラチフスA菌(*Salmonella Paratyphi A*)の感染によって起こる全身性疾患である。パラチフスA菌の感染はヒトに限って起こるので、患者及び無症状病原体保有者の糞便と尿、およびそれらに汚染された食品、水、手指が感染源となる。症状はチフス菌(*Salmonella Typhi*)による腸チフスとほとんど同様であり、従来腸チフスに比べて軽症であると言われてきたが、同程度であるとする報告もある。即ち、通常1～3週間の潜伏期の後、39～40の発熱が出現し、主要症状は高熱の持続で、他に特記すべきことがないことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が多くならない)、バラ疹、脾腫が3大徴候とされているが、これらの出現率は30～50%台である。便秘、時には下痢のみられることもある。合併症として腸出血、腸穿孔があるが、ニューキノロン系薬が使用されるようになってからは稀である。適切な治療がなされないと、再燃・再発や慢性保菌者になることもある。最近、チフス菌、パラチフスA菌ともに、ニューキノロン系薬低感受性菌の増加が問題になっているので、治療の際には注意が必要である。

パラチフスは、1999年4月1日施行の感染症法に基づく二類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届け出が、診断した全ての医師に義務づけられている。過去の年間累積報告数は、1999年(4月～)30例、2000年20例、2001年22例、2002年35例、2003年44例、2004年91例であり、2005年の報告数(診断週が2005年第1～52週で、2006年1月26日までに報告されたもの)は18例であった。腸チフスがほぼ同数で推移しているのに比し、パラチフスは2001年以降増加経過が認められ、2004年の報告数は前年のほぼ2倍を示し、腸チフスの報告数を上回ったが、2005年には著減した(図1)。

2005年の18例のうち、疑似症が4例で、無症状病原体保有者の報告はなかった。

疑似症を除く14例については、性別では男性7例、女性7例で、年齢では21～56歳(中央値24.5歳)であった。推定感染地域は国外13例、不明1例であった。死亡例の記載はなかった。病原診断は全て細菌培養により行われているが、検体の種類をみると、血液及び便1例、血液のみ12例、便のみ1例であった。

国外を推定感染地域とする13例(男性7例、女性6例)について、年齢は21～56歳(中央値25歳)で、年齢群別にみると、20代8例、30代1例、40代1例、50代3例で、男性、女性ともに20代が多かった(図2)。発症月別にみると、4月3例、7月2例、10月2例にやや多いと思われた(図3)。推定感染国別にみると(1例で2カ国記載あり)、インド3例、ミャンマー2例、ネパール2例、中国2例、タイ、バングラデシュ、カンボジア、モルディブ、東南アジア各1例であったが、インド亜大陸が計8例で、過半数を占めた(図4)。

流行地へ渡航する場合には、生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。また、手洗いの励行も重要である。さらに、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

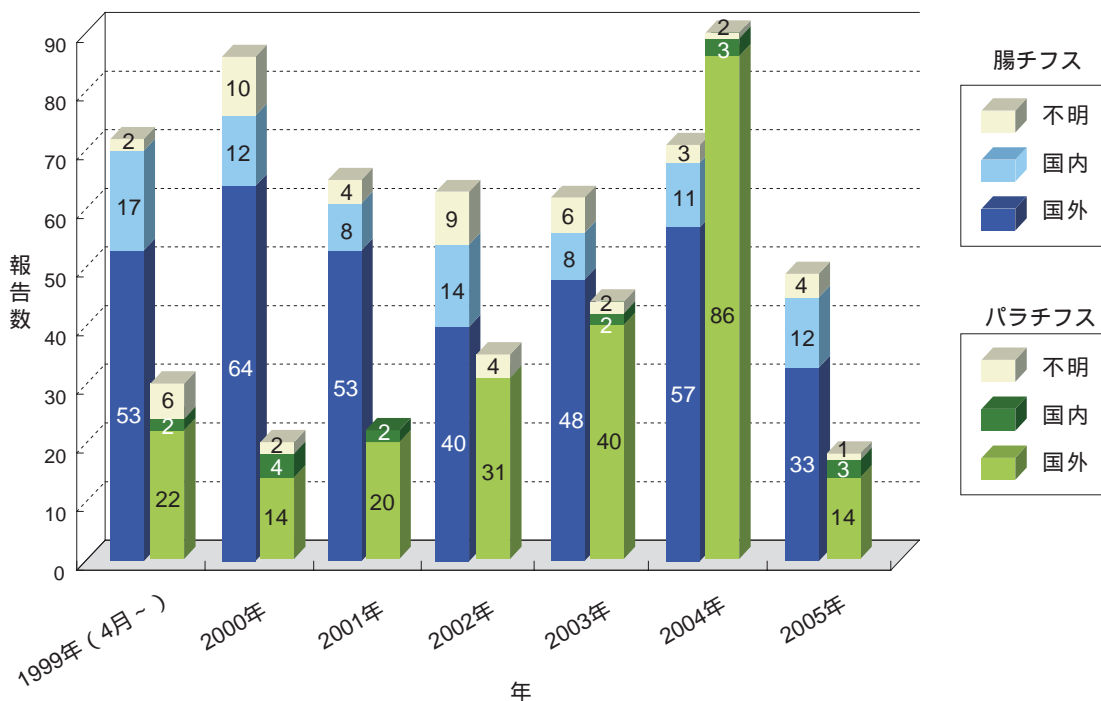


図1. 腸チフス・パラチフスの年別・推定感染地域別発生状況(疑似症を含む)

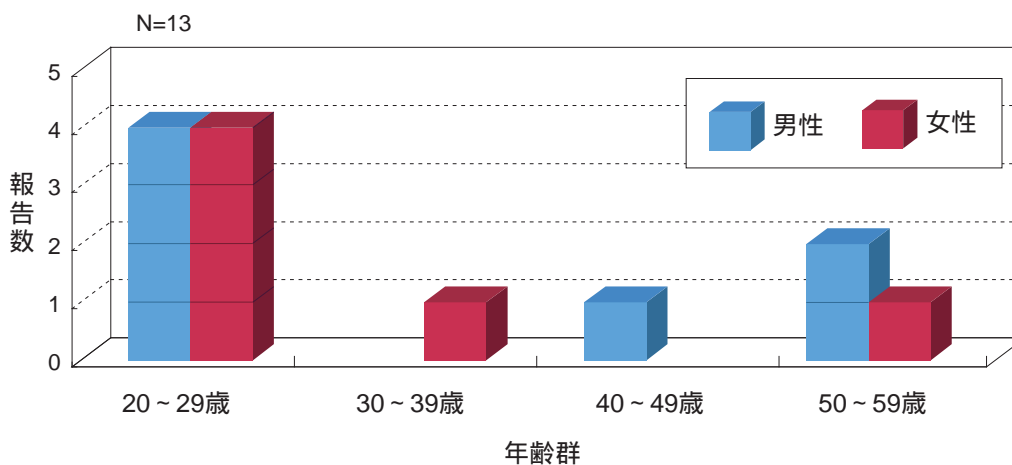


図2. パラチフスの国外感染例における性別・年齢群別報告数(2005年)

疑似症(4例)、推定感染地域不明(1例)を除く

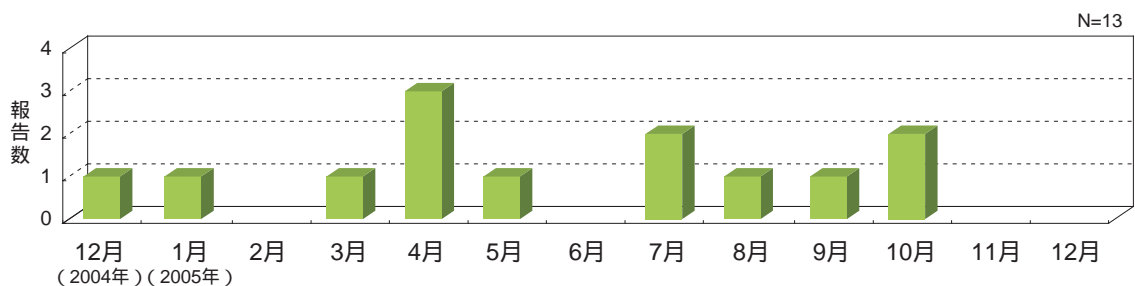
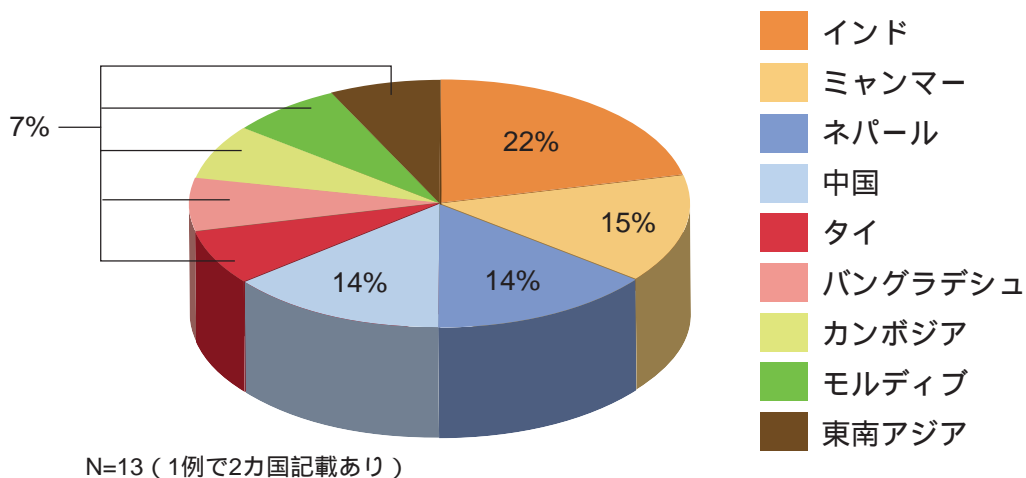


図3. パラチフスの国外感染例における発症月別分布 (2005年)

疑似症 (4例)、推定感染地域不明 (1例) を除く



N=13 (1例で2カ国記載あり)

図4. パラチフスの国外感染例における推定感染国 (2005年)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

モルジブでのデング熱流行状況

WHO/EPR 2006年3月17日

モルジブでは2006年1月以降、デング熱の流行に見舞われており、2006年3月5日までに602人の疑い患者が発生した。(このうち64人がデング出血熱、9人がデングショック症候群)

モルジブでは、ネッタイシマカが主要ベクターである。いずれの種も主に日中に刺し、特に日没後から数時間の間に活発に活動する。屋外ではヒトスジシマカの方が優勢で、ネッタイシマカは主に屋内で優勢である。

バングラデシュでのポリオ流行状況

Grobal Polio Eradication Initiative(ポリオ撲滅計画ウェブサイト) 2006年3月16日

2006年1月23日に麻痺を発症した9歳の少女患者は、2000年8月以降、バングラデシュでは初のポリオ患者となった。

今回の診断確定を受けた対策:

保健省は、2006年1月にWHOのExecutive Boardによって支持されたポリオ対策に沿って、3回の大規模ポリオワクチン接種キャンペーンを計画している。第1回目のキャンペーンは4月16日に開始される予定である。

リスク評価:

今回の感染発生は、患者の発生した地区および周辺に拡大を続ける可能性がある。野生ポリオウイルス株の感染循環は、バングラデシュ国内の他の地域でも発生する可能性がある。しかし、その事実は現在確認されていない。

ポリオ根絶対策で得られた経験から、こうした感染事例は、5歳未満の小児すべてに迅速、高質な集団ワクチン接種キャンペーンを行えば、迅速に制圧できることが示されている。他方、東南アジア地方を含む他の諸国での最近の経験からは、当初の緊急対応の遅れが大きな被害につながることも証明されている。世界中で4カ国、すなわちナイジェリア、インド、パキスタンおよびアフガニスタンで、依然としてポリオの土着感染が確認されている。また、2003~2005年の複数国でのポリオ流行後、現在も輸入患者を報告している国の数は、21カ国から8カ国に減少した。

アゼルバイジャンでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年3月14日

2006年3月14日時点で、アゼルバイジャン保健省は、初の鳥インフルエンザH5型株感染患者3名を報告した。3名全員が死亡した。

診断検査は、エジプト・カイロにある米国海軍医学研究部門3部(NAMRU-3)によって供与された可動PCRフィールド検査室を用いて実施された。2006年2月後半以降に同国で活動しているWHOチームを支援するため、3月13日にNAMRU装備とスタッフがアゼルバイジャンに到着した。NAMRU-3は新興感染症に関して、WHO協力センターとして活動している。検査結果は信頼性が高いと考えられる。WHOの方針に従って、診断の確認と更なる解析のため、検体を英国に

あるWHO協力検査機関に送付するよう手配がなされた。WHOは、この外部検査機関による診断確認の結果を受けて、確定患者の累積表の数値を変更する予定である。英国の検査機関からの検査結果が得られるのは、2006年3月第3週後半と予想される。H5N1型株は、ヒトでの感染が知られている唯一のH5型ウイルス株である。確認検査では、H5N1型株が検出される可能性が高い。

患者2名は南東部のSalyan地域出身であったが、それぞれ異なる地区に居住していた。患者はSarvan地区在住の17歳少女(2006年2月23日に死亡)と、Daikyand地区在住の20歳女性(3月3日に死亡)であった。同2地区では最近数週間の間に、家禽の大量死が観察されているが、その死因は特定されていない。3例目の死亡者(中西部のTarter地域出身の21歳女性 先発生した。この患者は3月9日に死亡した。家禽での流行は2006年2月24日に報告されたが、SalyanおよびTarter地域では報告されていない。3月13日に強化されたWHOチームは、現在保健省と密接に協力して状況を調査している。全国に渡って強化されたサーベイランスによって、最近の何例かの死亡者を含む、新規の重症肺炎患者が検知されている。同国内の診断能力の強化によって、さらなる症例を検知したり除外することが促進されると期待される。

保健省はすでに、患者の届け出、移送、隔離下での治療、および接触者の追跡と管理について優れたシステムを確立している。毎日の戸別患者調査も継続されている。

南西インド洋でのチクングニヤとデング熱流行状況

WHO/EPR 2006年3月17日

レユニオン島では2005年3月5日~2006年3月17日の期間に、31人の医師により3,115例(うち196例は、2006年2月27日~3月5日)のチクングニヤ患者が診断された。数理モデルによれば2005年3月以降、204,000例が感染したと推定される(うち13,000例は、2006年2月27日~3月5日)。2006年1月1日~3月5日の期間に、25例が臨床的にデング熱の症状を呈し、検査により感染が確認された。5例はデング熱のみ、20例は同時にチクングニヤにも感染していた。

2006年1月以降、マヨット(疑い例2,833例) モーリシャス(疑い例6,000例、1,200例は確定) セイシェル(疑い例8,818例)などの島々でも報告されている。ヨーロッパではフランス(160例) ドイツ、イタリア、ノルウェー、スイスで輸入例が確認された。

チクングニヤはインドのAndhra Pradeshでも報告されている。2005年12月1日~2006年2月17日の期間に、5,671例の発熱・関節痛を示す症例が発生した。この地域では、媒介蚊のネッタインマカが増えている。

インド政府は、複数の専門家からなるチームを派遣した。WHOのアフリカ地域事務局とジュネーブからも専門家が派遣され、COMBIアプローチ(Communications-for-Behavioral Impact)などが行われている。WHOは、チクングニヤとデング熱が流行しているにもかかわらず、旅行を控える必要はないとしている。ただし、蚊に刺されないように肌の露出を少なくし、皮膚や衣服に昆虫忌避剤を使用するよう勧めている。

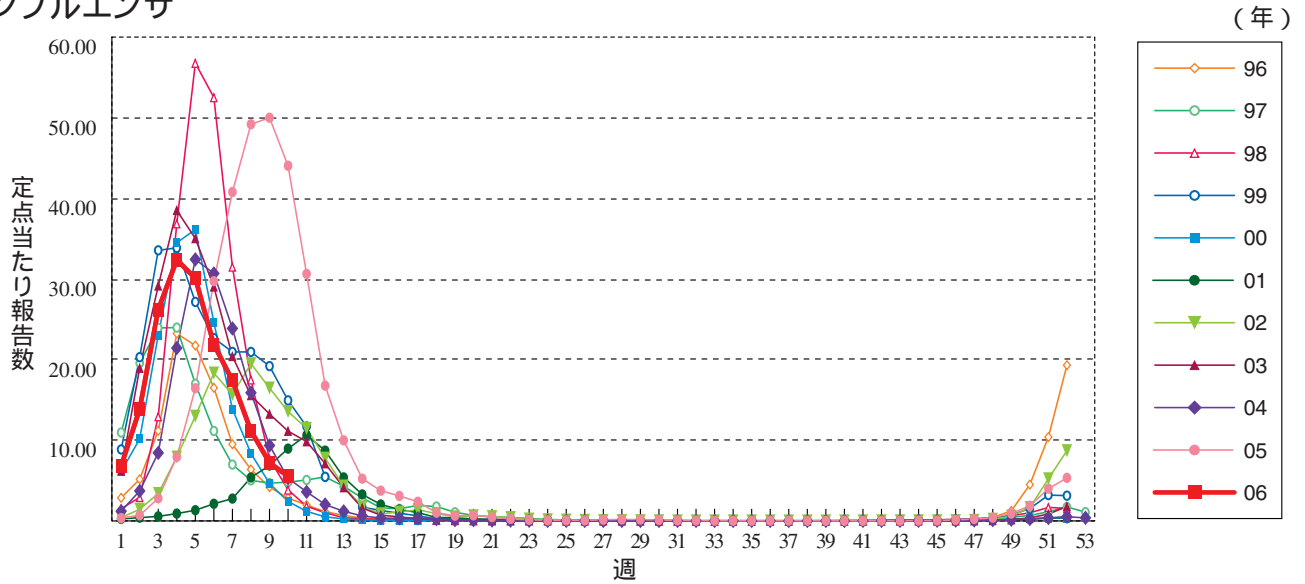


感染症の話

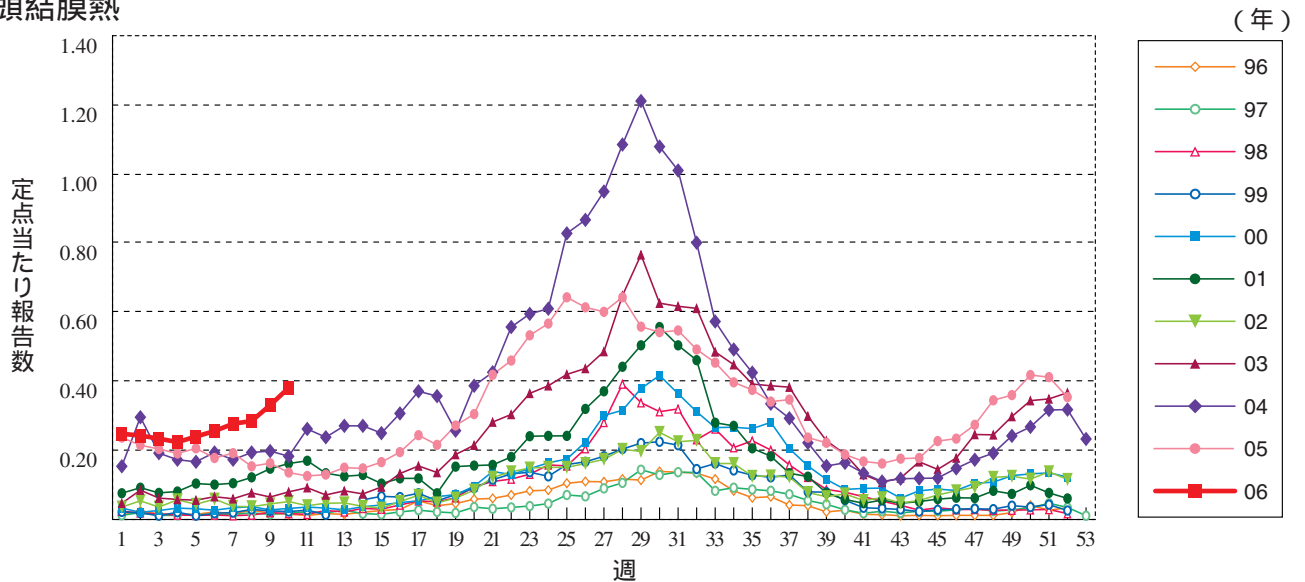
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(10週)

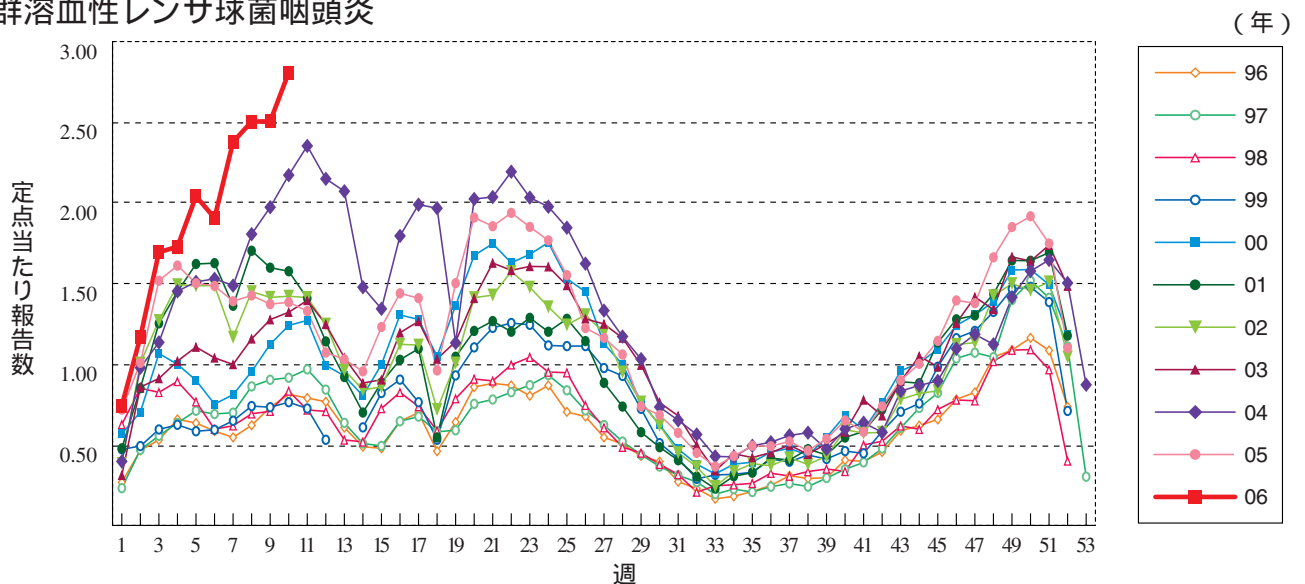
インフルエンザ



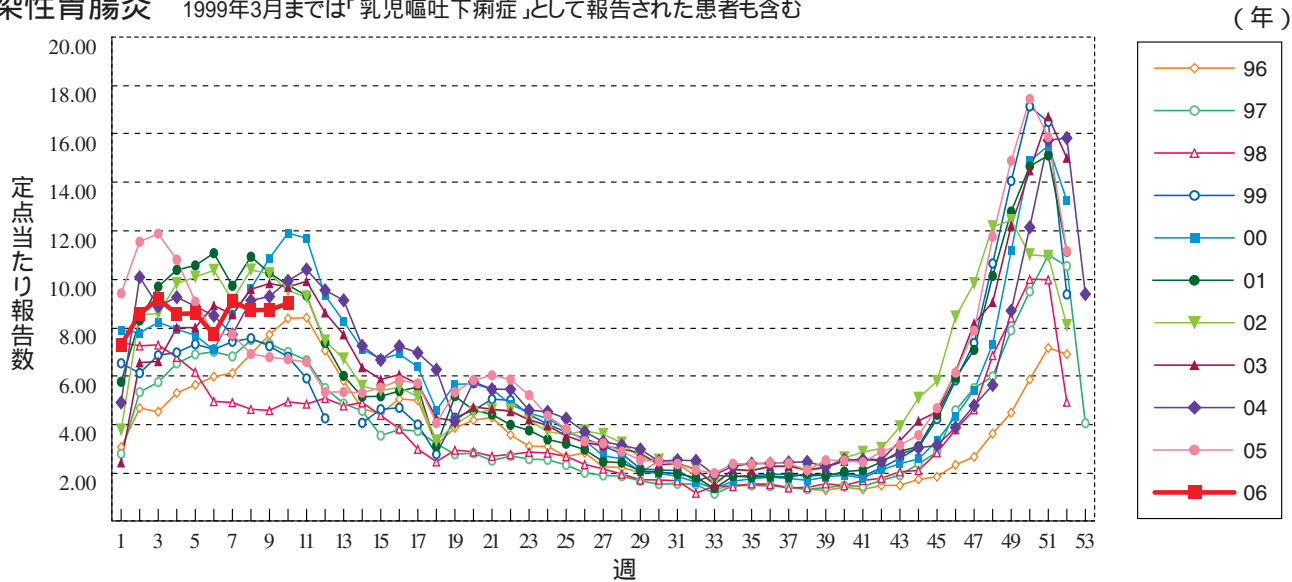
咽頭結膜熱



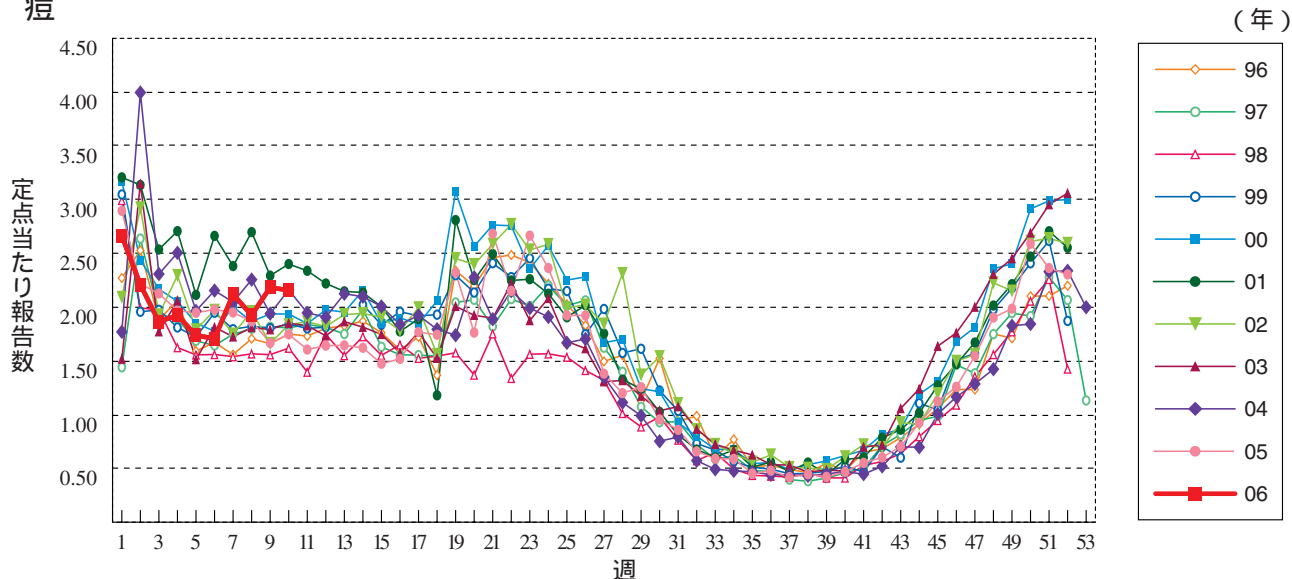
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



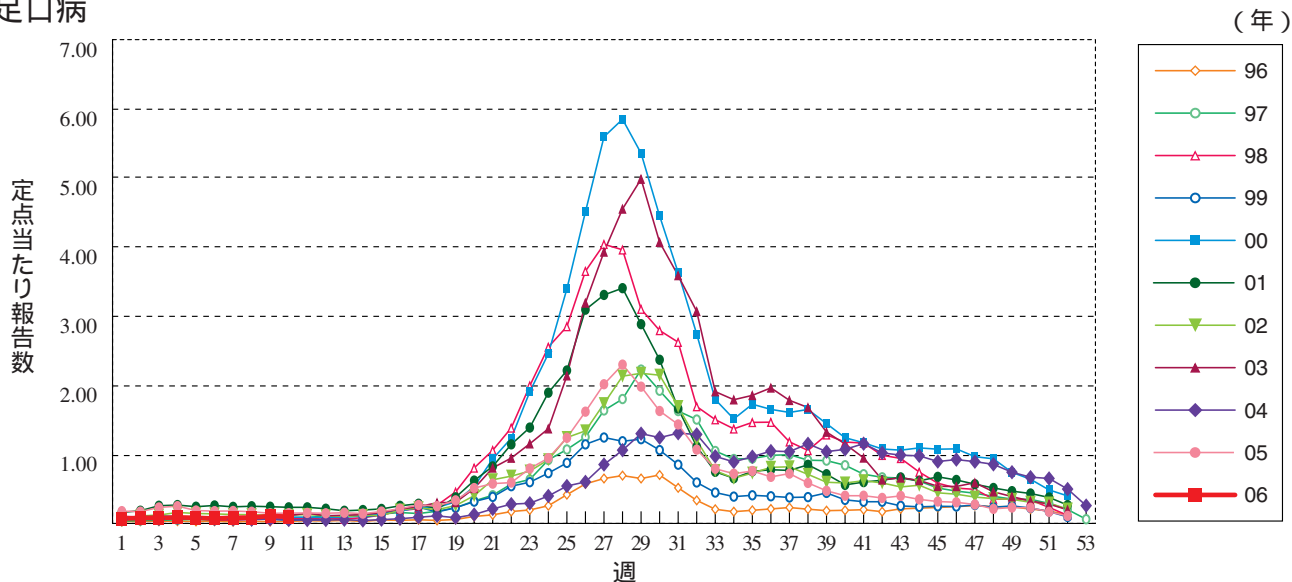
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



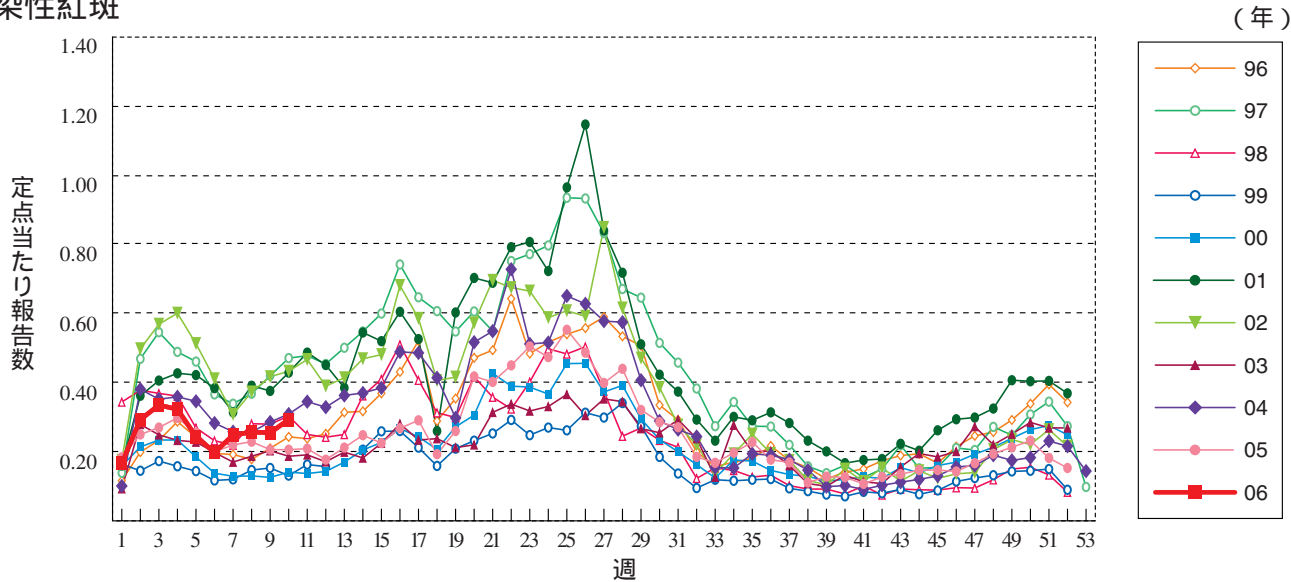
水痘



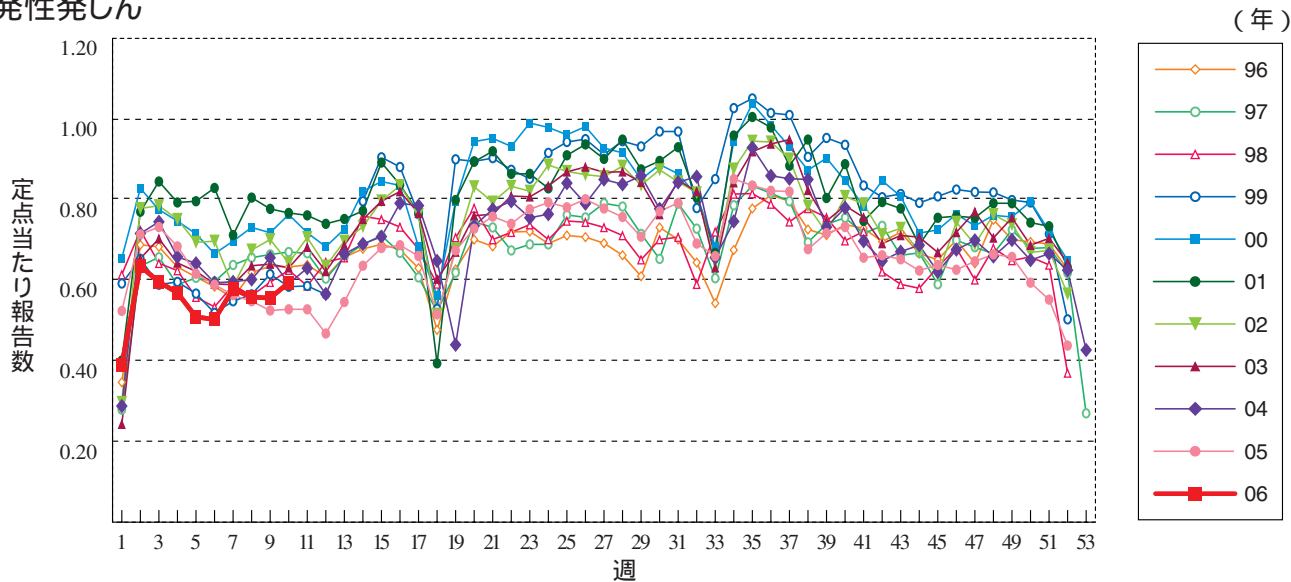
手足口病



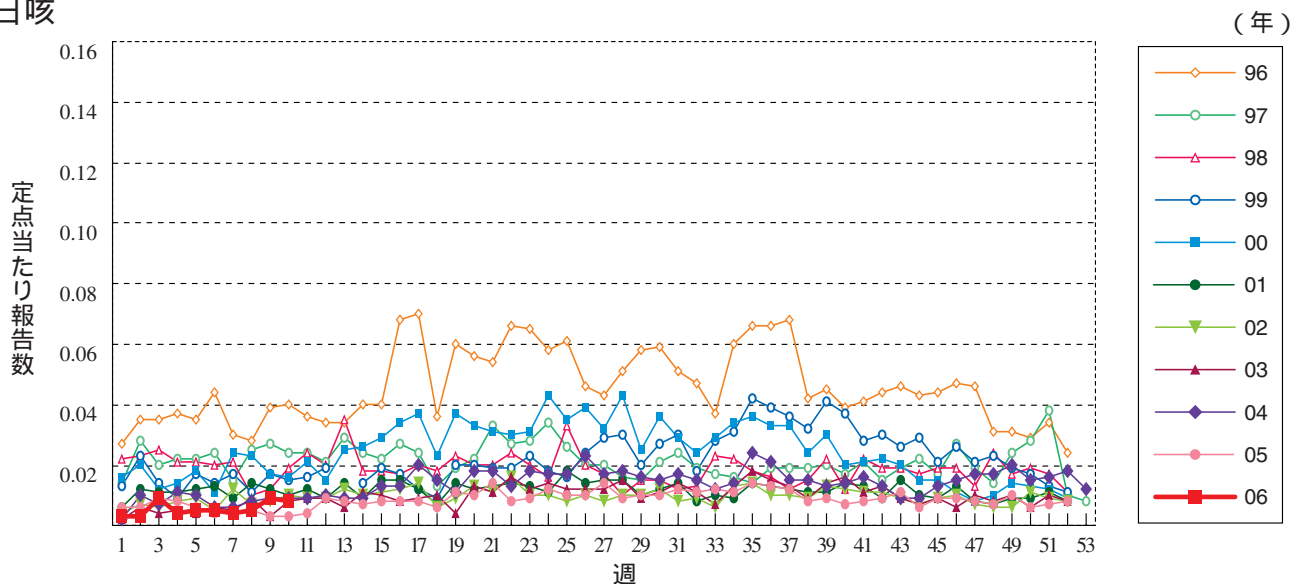
伝染性紅斑



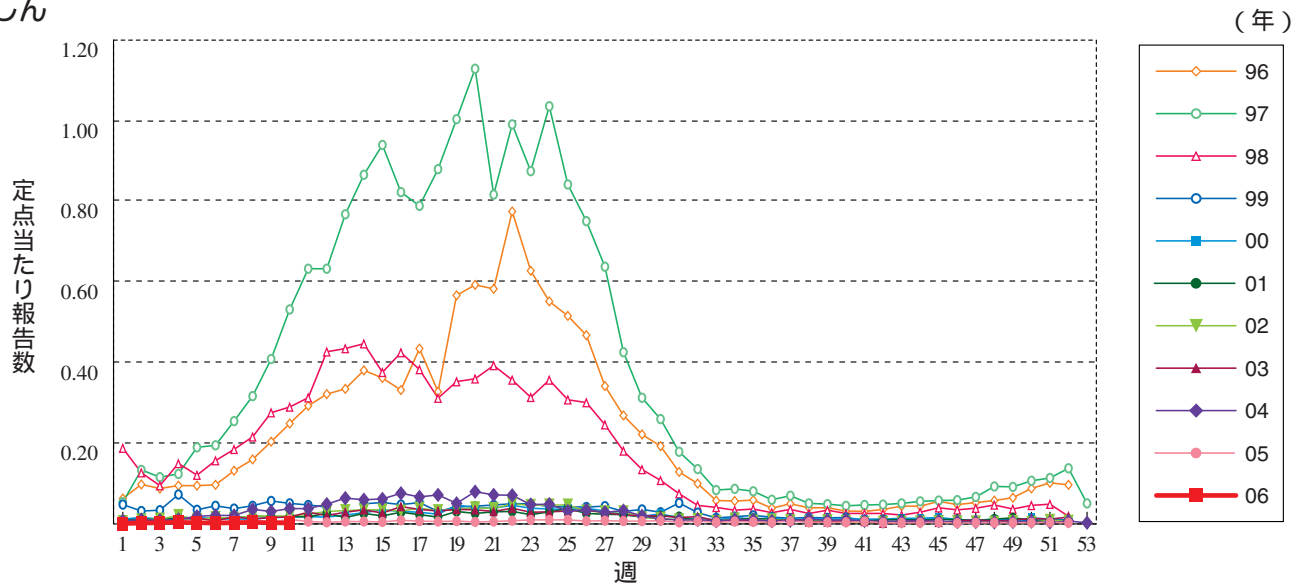
突発性発しん



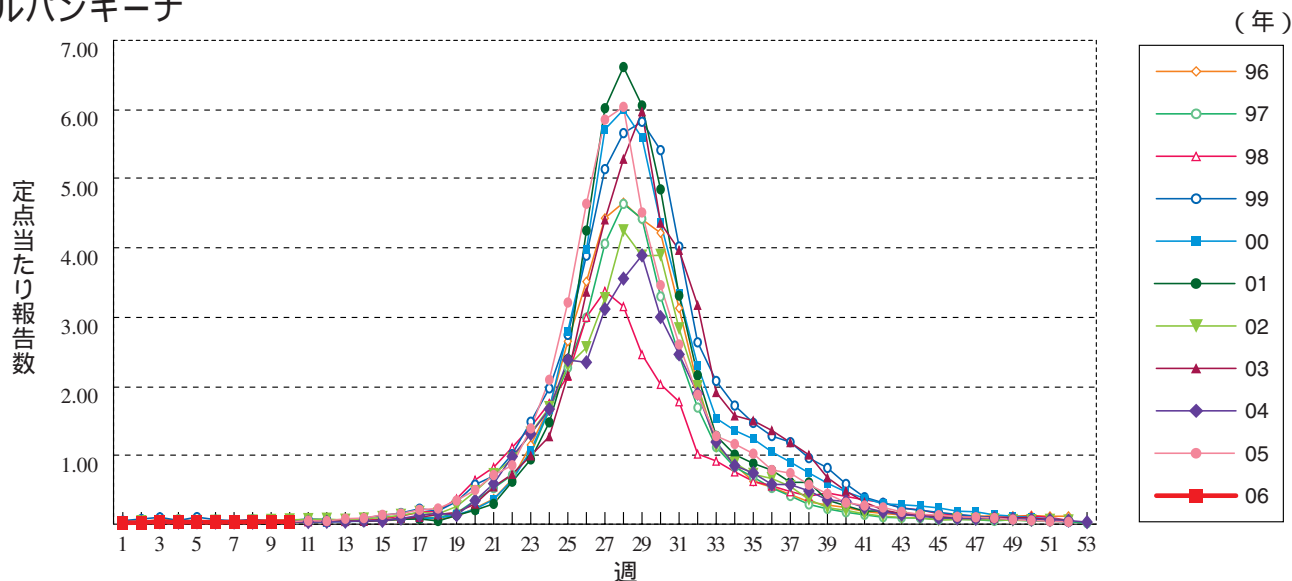
百日咳



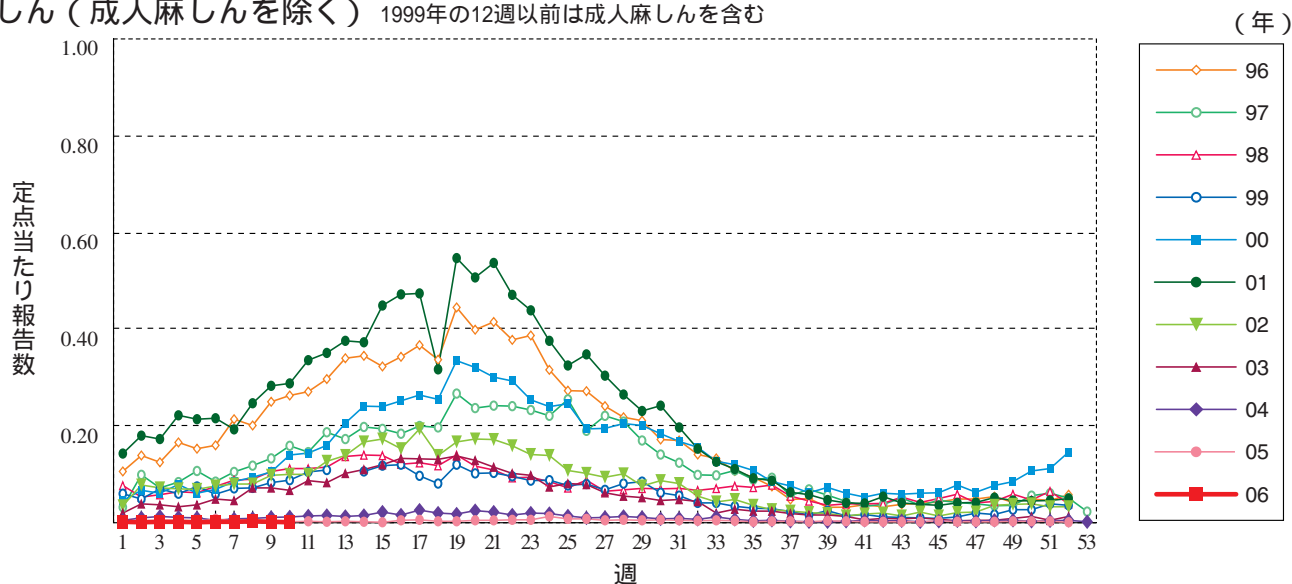
風しん



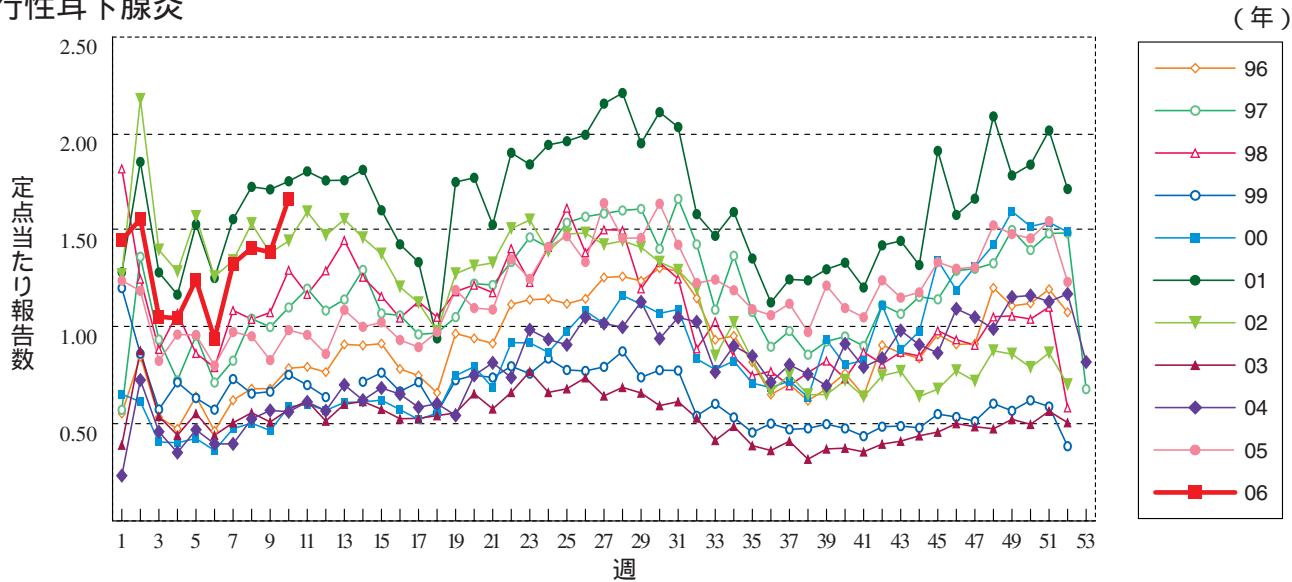
ヘルパンギーナ



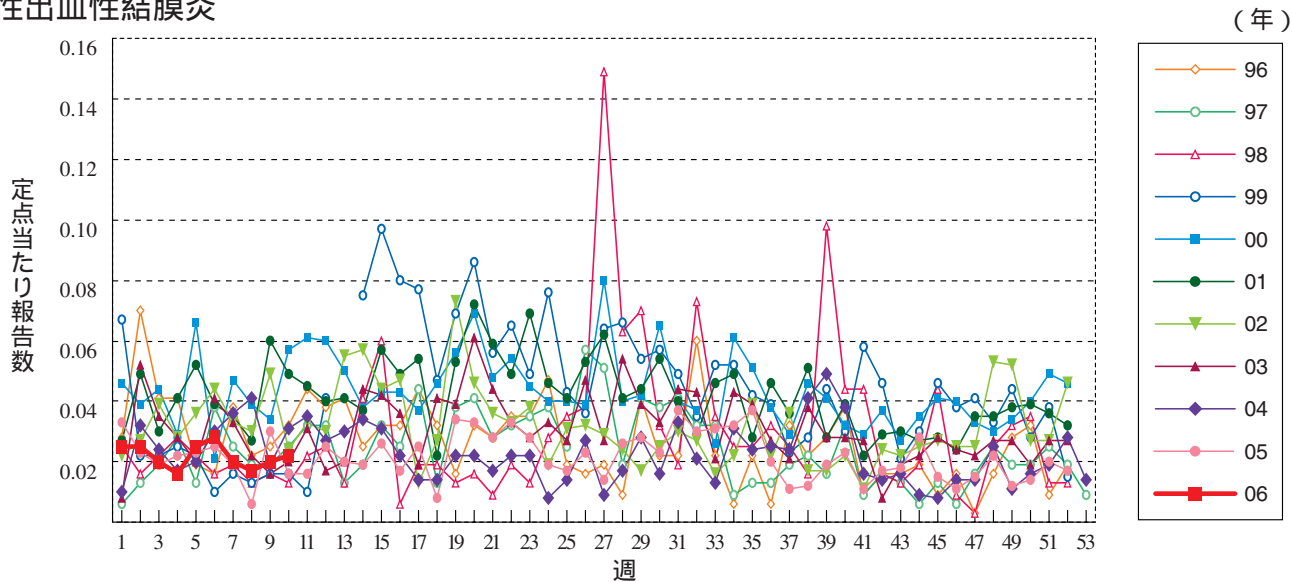
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



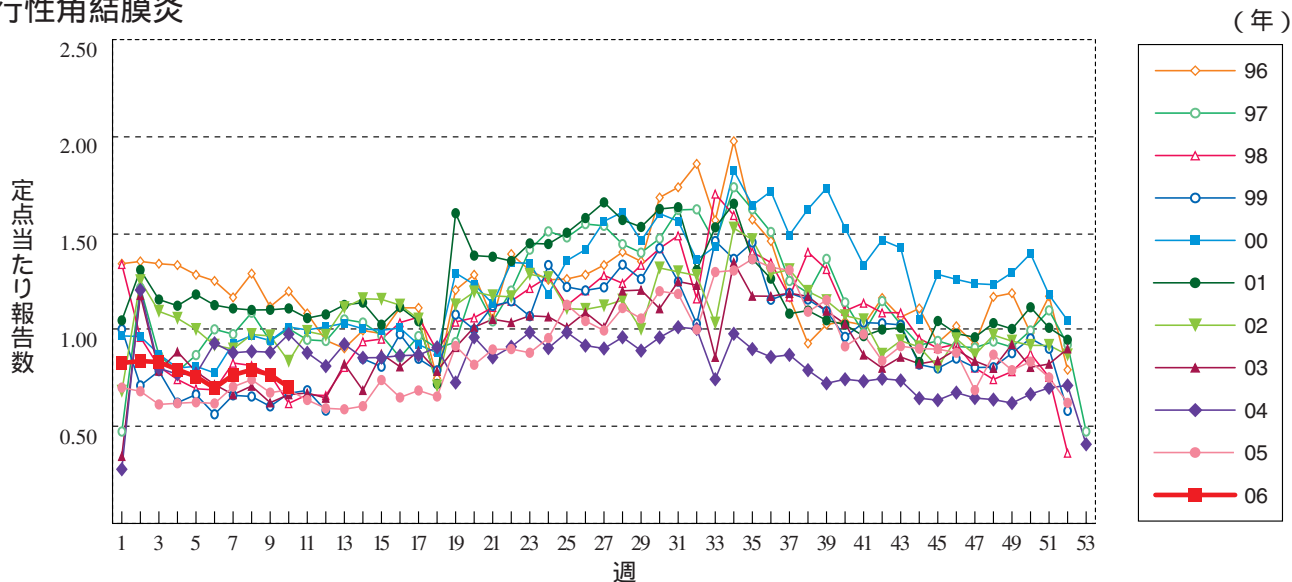
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

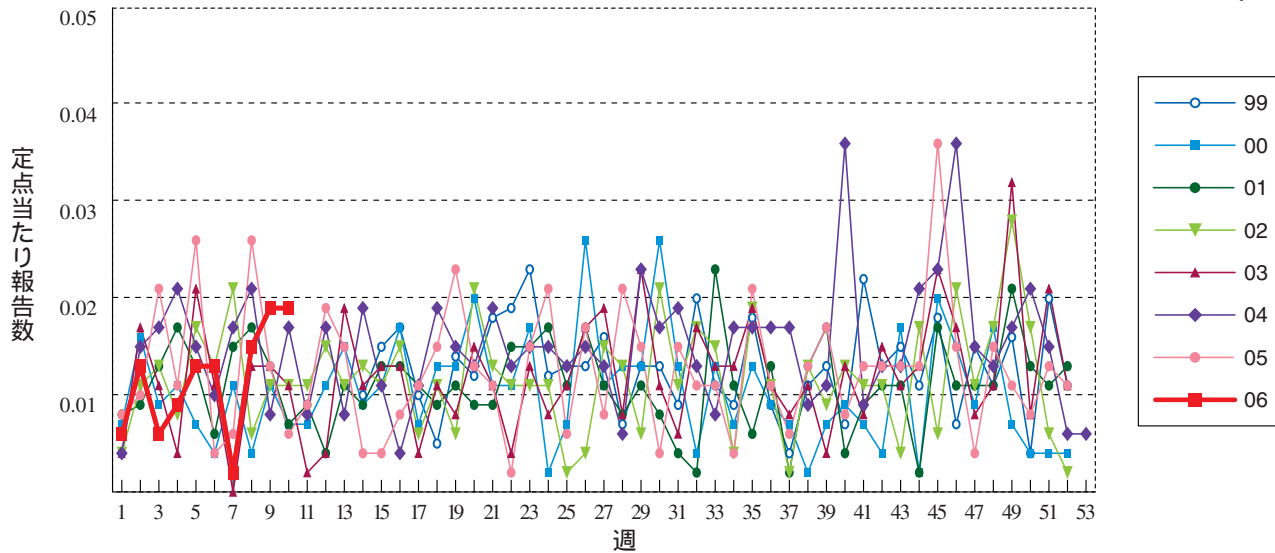


流行性角結膜炎



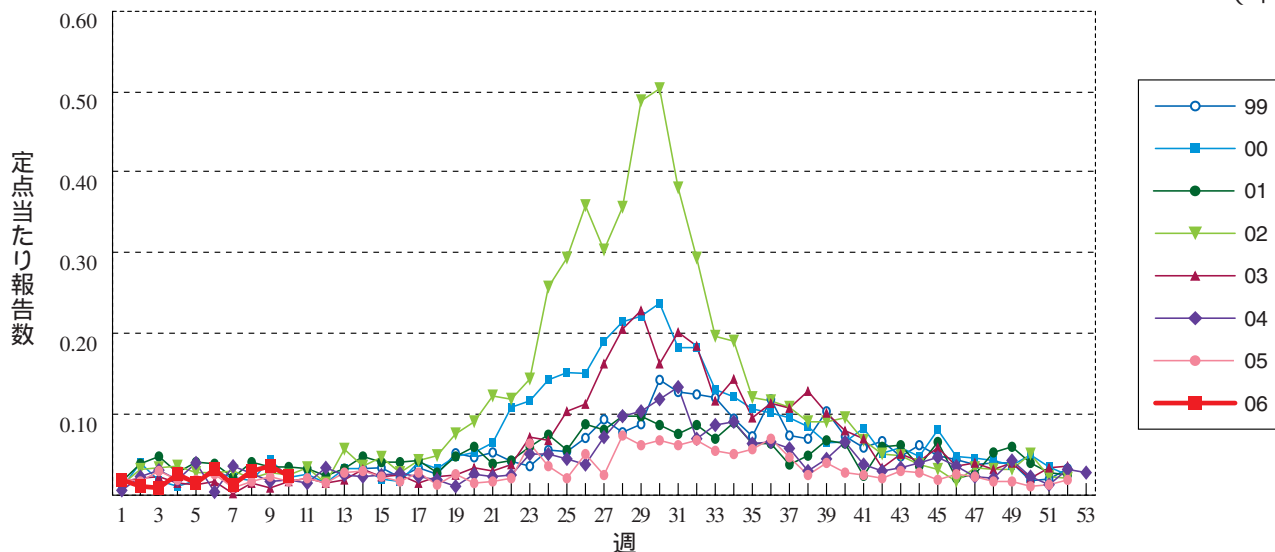
細菌性髄膜炎

(年)



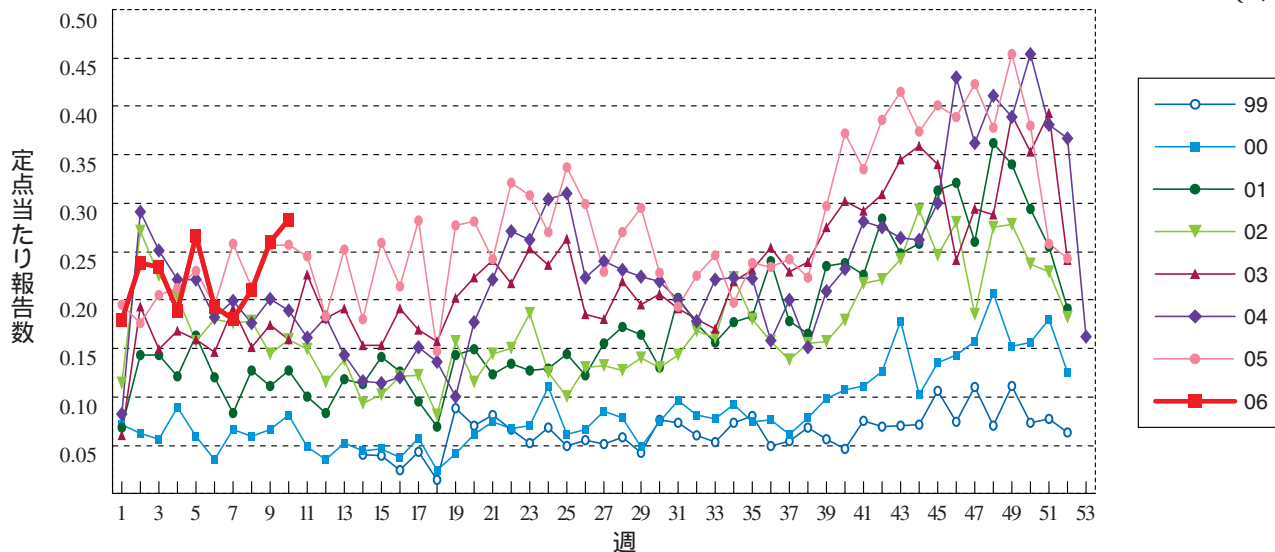
無菌性髄膜炎

(年)



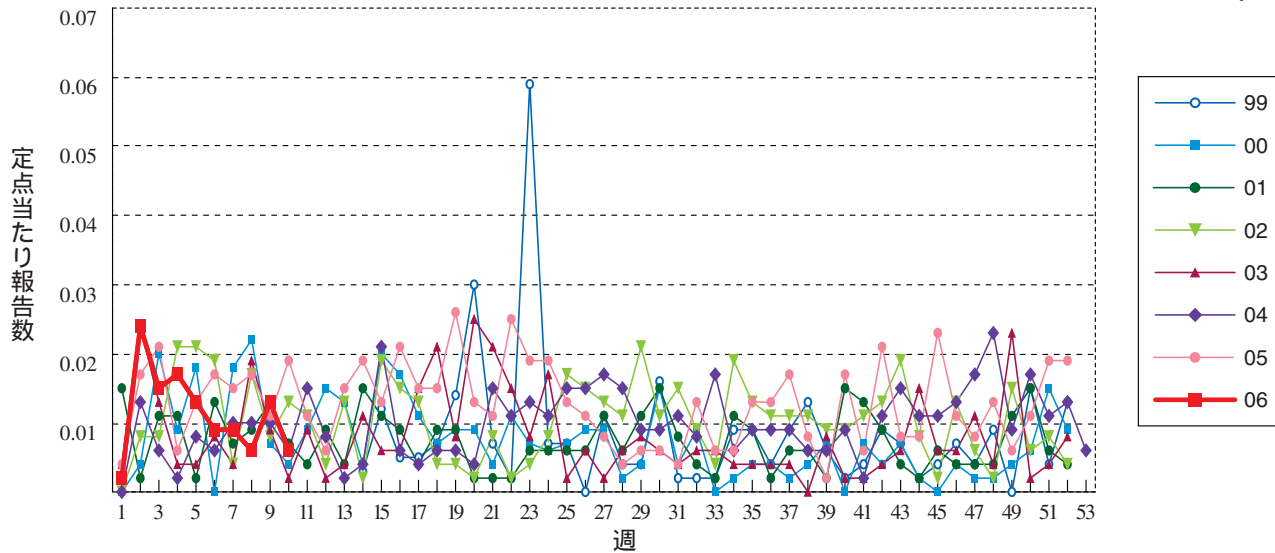
マイコプラズマ肺炎

(年)



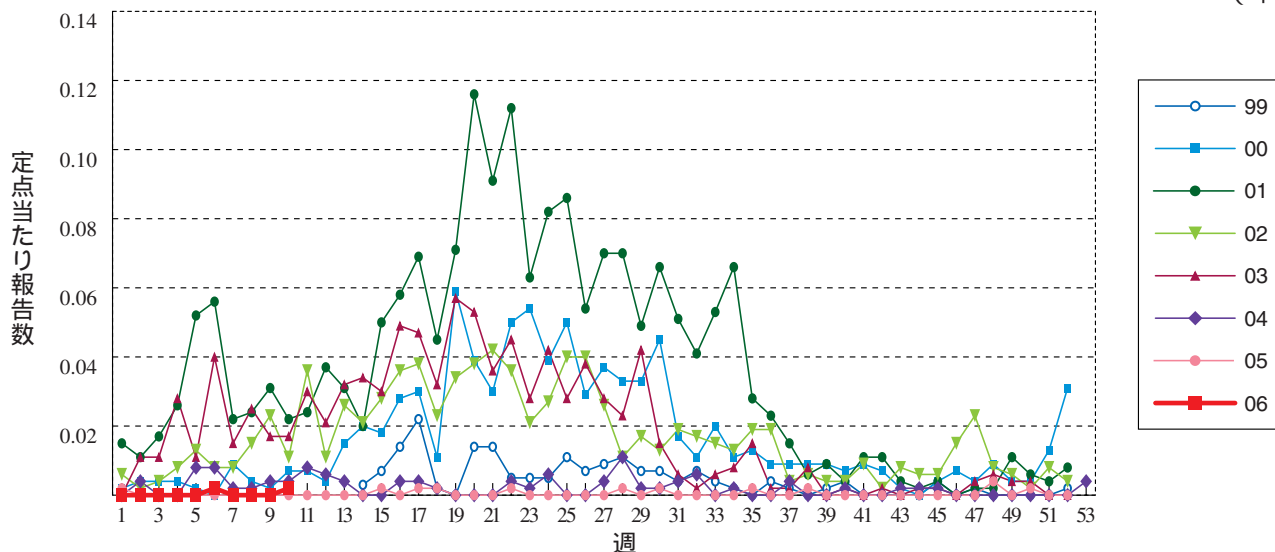
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



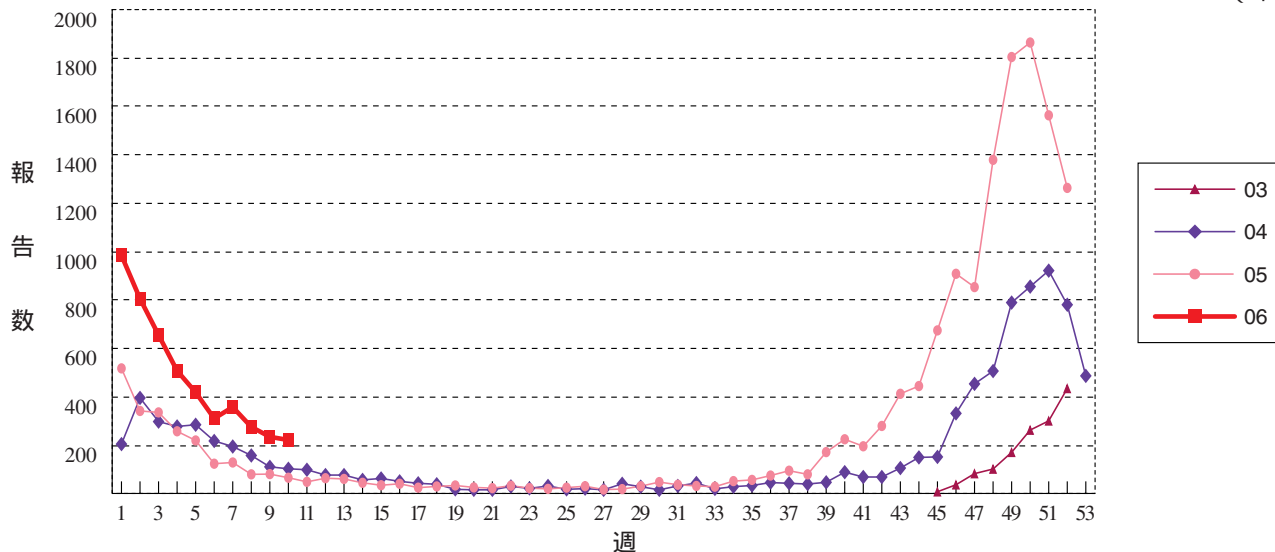
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





10週のデータ

注)表中の報告数は3月15日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成18年10週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	10	80	-	9	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	8	-	2	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	5	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	6	83	13	115	-	5	-	-	-	6	-	-	5	42
北海道	-	-	-	-	-	2	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	9	4	34	-	-	-	-	-	2	-	-	1	6
神奈川県	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
石川県	-	-	-	-	-	8	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	7	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	1	5	3	19	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5
兵庫県	-	-	-	-	-	4	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
佐賀県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	3	-	26	1	26	12	195	-	-	2	11	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	3	10	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	8	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	5	-	2	4	67	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	14	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	15	-	-	1	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	1	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	-	1	17	1	6	-	-	-	-	5	101	-	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	3	3	1	2	-	-	-	-	-	5	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	16	-	1
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	2	7	-	-	5	75
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	6
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	4	15	-	-	11	71	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	1	-	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3	53	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	25911	5.52	1158	0.38	8543	2.81	27346	8.99	6560	2.16	297	0.10	891	0.29	1806	0.59	23	0.01
北海道	2939	12.83	32	0.22	695	4.76	587	4.02	277	1.90	2	0.01	9	0.06	69	0.47	-	-
青森県	364	5.60	3	0.07	56	1.30	234	5.44	61	1.42	2	0.05	42	0.98	24	0.56	-	-
岩手県	206	3.27	3	0.08	98	2.58	280	7.37	43	1.13	5	0.13	4	0.11	20	0.53	-	-
宮城県	267	2.93	7	0.13	302	5.39	665	11.88	101	1.80	12	0.21	18	0.32	52	0.93	-	-
秋田県	259	4.71	12	0.34	84	2.40	269	7.69	52	1.49	6	0.17	16	0.46	12	0.34	-	-
山形県	236	4.92	13	0.43	153	5.10	315	10.50	51	1.70	1	0.03	16	0.53	29	0.97	-	-
福島県	373	4.66	7	0.15	145	3.02	497	10.35	99	2.06	1	0.02	49	1.02	24	0.50	-	-
茨城県	261	2.21	17	0.23	292	3.95	347	4.69	130	1.76	1	0.01	48	0.65	24	0.32	-	-
栃木県	258	3.69	3	0.07	42	0.91	241	5.24	67	1.46	2	0.04	3	0.07	16	0.35	2	0.04
群馬県	304	3.04	16	0.26	147	2.37	552	8.90	100	1.61	3	0.05	1	0.02	50	0.81	-	-
埼玉県	1132	4.40	38	0.24	678	4.21	1608	9.99	371	2.30	9	0.06	92	0.57	109	0.68	-	-
千葉県	895	4.20	20	0.15	558	4.20	1019	7.66	200	1.50	7	0.05	40	0.30	65	0.49	1	0.01
東京都	702	3.94	51	0.36	356	2.51	1106	7.79	211	1.49	4	0.03	47	0.33	75	0.53	-	-
神奈川県	2012	6.01	49	0.24	609	2.96	1685	8.18	359	1.74	8	0.04	64	0.31	117	0.57	-	-
新潟県	1305	13.32	27	0.44	388	6.26	533	8.60	149	2.40	2	0.03	5	0.08	48	0.77	-	-
富山県	399	8.31	1	0.03	67	2.31	334	11.52	61	2.10	-	-	5	0.17	17	0.59	-	-
石川県	432	9.00	9	0.31	131	4.52	340	11.72	69	2.38	3	0.10	3	0.10	16	0.55	1	0.03
福井県	294	9.19	36	1.64	125	5.68	249	11.32	53	2.41	3	0.14	-	-	14	0.64	-	-
山梨県	184	4.49	1	0.04	58	2.32	110	4.40	55	2.20	1	0.04	18	0.72	4	0.16	-	-
長野県	1283	14.58	16	0.29	169	3.07	382	6.95	102	1.85	-	-	9	0.16	19	0.35	-	-
岐阜県	617	7.09	66	1.25	69	1.30	219	4.13	66	1.25	31	0.58	11	0.21	23	0.43	1	0.02
静岡県	776	5.66	30	0.35	217	2.52	784	9.12	277	3.22	8	0.09	14	0.16	47	0.55	-	-
愛知県	2303	11.81	27	0.15	421	2.31	1013	5.57	346	1.90	76	0.42	22	0.12	103	0.57	1	0.01
三重県	549	7.52	21	0.47	142	3.16	479	10.64	136	3.02	14	0.31	13	0.29	35	0.78	-	-
滋賀県	222	4.35	8	0.25	36	1.13	177	5.53	43	1.34	5	0.16	6	0.19	29	0.91	-	-
京都府	216	1.77	4	0.05	110	1.47	455	6.07	98	1.31	5	0.07	28	0.37	30	0.40	-	-
大阪府	884	3.07	120	0.61	427	2.16	1454	7.34	415	2.10	18	0.09	29	0.15	109	0.55	5	0.03
兵庫県	775	4.02	97	0.77	339	2.69	1181	9.37	316	2.51	10	0.08	27	0.21	76	0.60	-	-
奈良県	158	2.87	14	0.40	54	1.54	272	7.77	51	1.46	1	0.03	3	0.09	15	0.43	-	-
和歌山県	174	3.48	20	0.65	52	1.68	260	8.39	59	1.90	-	-	7	0.23	22	0.71	-	-
鳥取県	60	2.07	2	0.11	99	5.21	254	13.37	26	1.37	-	-	29	1.53	7	0.37	-	-
島根県	172	4.78	33	1.43	32	1.39	223	9.70	28	1.22	1	0.04	20	0.87	15	0.65	-	-
岡山県	58	0.70	9	0.17	60	1.11	568	10.52	96	1.78	3	0.06	1	0.02	21	0.39	-	-
広島県	183	1.61	26	0.37	178	2.51	1033	14.55	146	2.06	3	0.04	9	0.13	40	0.56	2	0.03
山口県	124	1.77	23	0.47	185	3.78	805	16.43	115	2.35	1	0.02	12	0.24	42	0.86	-	-
徳島県	102	2.68	6	0.26	21	0.91	106	4.61	29	1.26	4	0.17	3	0.13	14	0.61	1	0.04
香川県	223	4.37	35	1.09	18	0.56	283	8.84	65	2.03	-	-	4	0.13	11	0.34	-	-
愛媛県	525	8.61	15	0.41	29	0.78	643	17.38	122	3.30	3	0.08	4	0.11	20	0.54	-	-
高知県	2046	41.76	1	0.03	18	0.58	228	7.35	75	2.42	1	0.03	-	-	10	0.32	-	-
福岡県	374	1.89	70	0.58	377	3.14	1859	15.49	471	3.93	3	0.03	63	0.53	115	0.96	7	0.06
佐賀県	55	1.41	27	1.17	28	1.22	465	20.22	66	2.87	2	0.09	7	0.30	28	1.22	-	-
長崎県	302	4.44	15	0.34	36	0.82	517	11.75	113	2.57	-	-	11	0.25	18	0.41	1	0.02
熊本県	115	1.44	12	0.25	66	1.38	736	15.33	142	2.96	14	0.29	49	1.02	44	0.92	-	-
大分県	249	4.29	7	0.19	162	4.50	597	16.58	159	4.42	1	0.03	5	0.14	37	1.03	-	-
宮崎県	81	1.35	25	0.68	92	2.49	779	21.05	166	4.49	1	0.03	9	0.24	40	1.08	1	0.03
鹿児島県	83	0.89	77	1.38	80	1.43	577	10.30	185	3.30	20	0.36	14	0.25	33	0.59	-	-
沖縄県	380	6.55	7	0.21	42	1.24	26	0.76	138	4.06	-	-	2	0.06	18	0.53	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	6	0.00	102	0.03	2	0.00	5063	1.66	14	0.02	454	0.70	9	0.02	11	0.02	132	0.28
北海道	-	-	4	0.03	-	-	227	1.55	-	-	17	0.57	-	-	1	0.05	-	-
青森県	-	-	1	0.02	-	-	54	1.26	-	-	1	0.09	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	-	-	-	-	40	1.05	-	-	10	0.83	-	-	-	-	4	0.20
宮城県	-	-	1	0.02	-	-	122	2.18	1	0.09	-	-	-	-	-	-	2	0.18
秋田県	-	-	-	-	-	-	17	0.49	-	-	4	0.57	-	-	-	-	5	0.63
山形県	-	-	-	-	-	-	128	4.27	-	-	2	0.25	-	-	-	-	2	0.20
福島県	-	-	1	0.02	-	-	109	2.27	-	-	15	1.25	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	-	-	-	-	-	-	151	2.04	-	-	21	1.31	-	-	-	-	5	0.45
栃木県	1	0.02	1	0.02	-	-	29	0.63	-	-	9	0.75	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	10	0.16	-	-	91	1.47	-	-	27	1.93	1	0.11	-	-	10	1.11
埼玉県	-	-	8	0.05	1	0.01	243	1.51	1	0.03	36	0.90	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	-	-	2	0.02	1	0.01	140	1.05	1	0.03	19	0.56	-	-	-	-	3	0.33
東京都	-	-	18	0.13	-	-	111	0.78	1	0.07	5	0.36	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	4	0.02	-	-	280	1.36	2	0.05	35	0.83	-	-	-	-	3	0.25
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	119	1.92	-	-	8	0.80	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	1	0.03	-	-	47	1.62	-	-	4	0.57	1	0.20	-	-	2	0.40
石川県	-	-	-	-	-	-	59	2.03	-	-	5	0.71	1	0.20	-	-	4	0.80
福井県	-	-	1	0.05	-	-	8	0.36	-	-	2	0.67	1	0.17	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	-	-	-	-	33	1.32	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	-	-	-	-	265	4.82	-	-	12	1.00	1	0.09	-	-	6	0.55
岐阜県	-	-	-	-	-	-	27	0.51	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	189	2.20	-	-	13	0.65	-	-	-	-	5	0.50
愛知県	-	-	6	0.03	-	-	212	1.16	-	-	9	0.26	-	-	-	-	11	0.85
三重県	-	-	-	-	-	-	61	1.36	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	15	0.47	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	72	0.96	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	4	0.02	-	-	160	0.81	2	0.04	20	0.38	2	0.14	1	0.07	25	1.79
兵庫県	-	-	3	0.02	-	-	129	1.02	1	0.03	23	0.66	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	34	0.97	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	94	3.03	1	0.25	-	-	-	-	2	0.18	-	-
鳥取県	1	0.05	-	-	-	-	65	3.42	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	1	0.04	-	-	-	-	71	3.09	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	0.04	-	-	80	1.48	-	-	5	0.42	-	-	-	-	1	0.20
広島県	1	0.01	5	0.07	-	-	129	1.82	-	-	17	0.89	-	-	2	0.10	4	0.19
山口県	-	-	3	0.06	-	-	188	3.84	1	0.11	8	0.89	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	2	0.09	-	-	79	3.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	43	1.34	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	78	2.11	-	-	22	2.75	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	-	-	-	-	22	0.71	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.57
福岡県	-	-	7	0.06	-	-	158	1.32	-	-	22	0.85	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	13	0.57	1	0.25	1	0.25	-	-	2	0.33	3	0.50
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	96	2.18	2	0.25	9	1.13	-	-	-	-	4	0.33
熊本県	-	-	9	0.19	-	-	80	1.67	-	-	21	2.33	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	4	0.11	-	-	132	3.67	-	-	6	1.20	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	93	2.51	-	-	11	2.75	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	270	4.82	-	-	7	1.00	-	-	1	0.08	4	0.33
沖縄県	-	-	-	-	-	-	200	5.88	-	-	5	0.50	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成18年10週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	1	0.00	221
北海道	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	10
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	1
福島県	1	0.14	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	7
新潟県	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	10
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	19
滋賀県	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	...
大阪府	-	-	-	-	25
兵庫県	-	-	-	-	22
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	17
山口県	-	-	-	-	20
徳島県	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	9
高知県	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	2	0.33	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	1	0.07	3
大分県	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	12

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年10週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第8巻 第10号 平成18年3月27日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
<厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。